

令和5年度（2023年度）

# 事業報告書

（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）



令和6年5月23日

学校法人 帝塚山学院

# 目 次

## I 法人の概要

- |   |                       |     |
|---|-----------------------|-----|
| 1 | 設置する学校・学部・学科等         | P 1 |
| 2 | 学校法人組織構成図             | P 2 |
| 3 | 学校・学部・学科等の入学定員、学生数の概要 | P 3 |
| 4 | 役員・教職員の概要             | P 5 |
|   | (1) 理事会               |     |
|   | (2) 評議員会              |     |
|   | (3) 教職員数              |     |
|   | 別表 1                  | P 8 |

## II 法人事業の概要

- |   |        |     |
|---|--------|-----|
| 1 | 本学院の状況 | P10 |
|---|--------|-----|

## III 令和5年度 帝塚山学院の事業報告の骨子

- |   |                   |     |
|---|-------------------|-----|
| 1 | 法人本部              | P12 |
| 2 | 幼稚園               | P13 |
| 3 | 小学校               | P14 |
| 4 | 泉ヶ丘中学校高等学校        | P15 |
| 5 | 中学校高等学校           | P17 |
| 6 | 大学・大学院            | P18 |
| 7 | 令和5年度学生異動及び卒業生の進路 | P22 |

## IV 財務の概要

- |   |                 |     |
|---|-----------------|-----|
| 1 | 令和5年度決算の概要      | P34 |
|   | (1) 財産目録        |     |
|   | (2) 資金収支計算書     |     |
|   | (3) 活動区分資金収支計算書 |     |
|   | (4) 事業活動収支計算書   |     |
|   | (5) 貸借対照表       |     |
|   | (6) 収益事業 貸借対照表  |     |
|   | (7) 収益事業 損益計算書  |     |
| 2 | 経年比較            | P44 |
|   | (1) 資金収支の推移     |     |
|   | (2) 事業活動収支の推移   |     |
|   | (3) 貸借対照表の推移    |     |
|   | (4) 財務比率表の推移    |     |

# I 法人の概要

## 1. 設置する学校・学部・学科等

(1) 帝塚山学院幼稚園 (園長: 田中 幸枝)

(2) 帝塚山学院小学校 (校長: 神原 利浩)

(3) 帝塚山学院泉ヶ丘中学校 (校長: 江口 宗茂)

(4) 帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 (校長: 江口 宗茂)

(5) 帝塚山学院中学校 (校長: 瀧山 恵)

(6) 帝塚山学院高等学校 (校長: 瀧山 恵)

(7) 帝塚山学院大学 (学長: 津田 謹輔) 令和5年11月19日退任  
(学長: 西川 隆蔵) 令和6年1月11日就任

学部

リベラルアーツ学部

リベラルアーツ学科

人間科学部

キャリア英語学科  
(平成30年4月より募集停止)

情報メディア学科  
(平成30年4月より募集停止)

心理学科

食物栄養学科

大学院

人間科学研究科

人間科学専攻

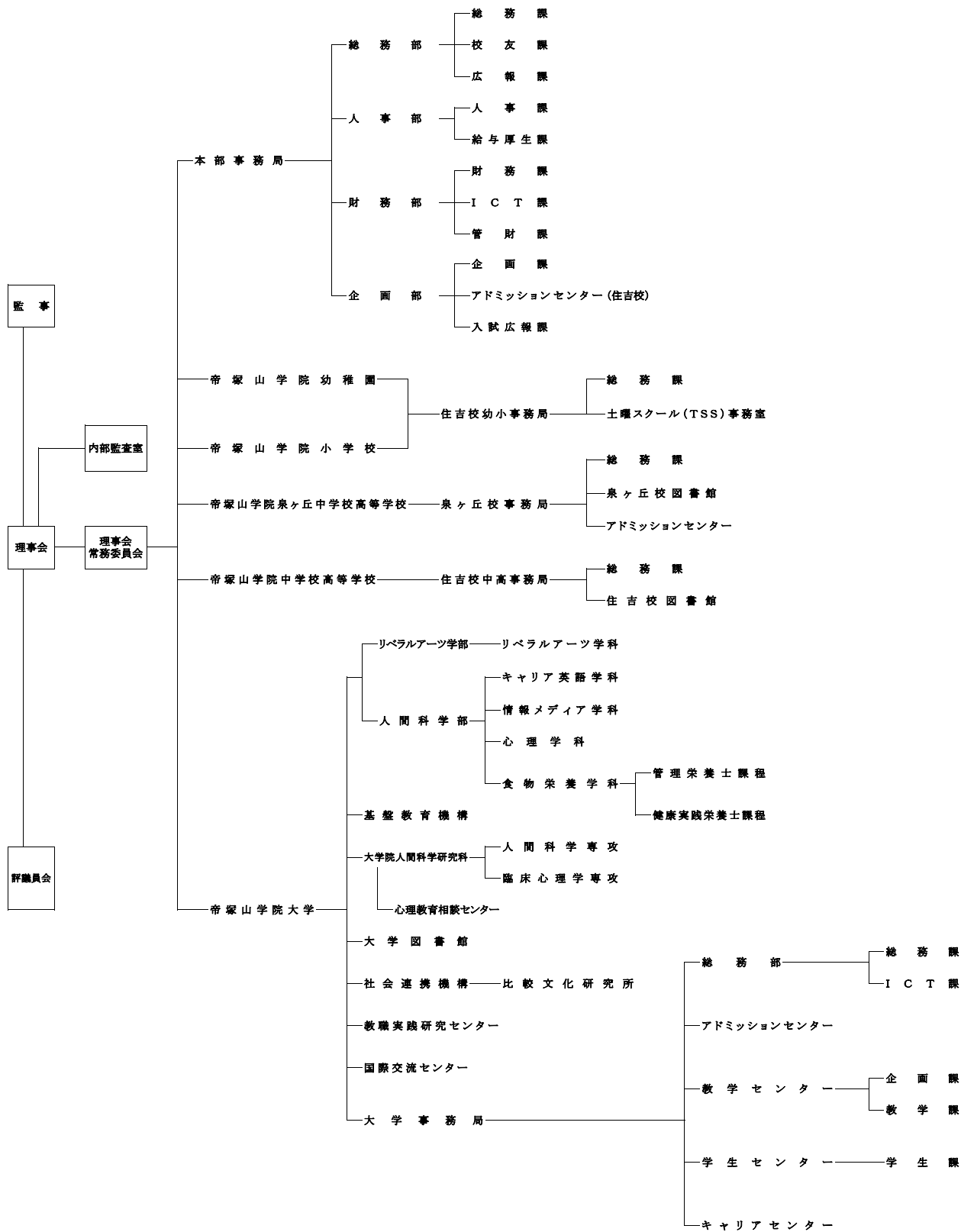
人間科学研究科

臨床心理学専攻(専門職)

※ 令和6年4月、帝塚山学院大学はリベラルアーツ学部、総合心理学部、食環境学部の3学部化

## 2. 学校法人組織構成図(令和5年度、2023年度)

令和5年7月1日 現在



3. 学校・学部・学科等の入学定員、学生数の概要

令和5年5月1日現在

	学部・学科名等	定員		現員						合計
		入学定員	収容定員	1年 (3歳児)	2年 (4歳児)	3年 (5歳児)	4年	5年	6年以上	
高等学校 以下	帝塚山学院幼稚園	50	160	51	49	56				156
	帝塚山学院小学校	120	720	101	121	114	114	112	107	669
	帝塚山学院泉ヶ丘中学校	160	480	152	172	166				490
	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	280	840	319	306	317				942
	帝塚山学院中学校	200	600	264	268	268				800
	帝塚山学院高等学校	250	750	271	277	244				792
	高等学校以下計	1,060	3,550	1,158	1,193	1,165	114	112	107	3,849
大学	リベラルアーツ学部									
	リベラルアーツ学科	120	480	162	133	135	167	14	2	613
	リベラルアーツ学部計	120	480	162	133	135	167	14	2	613
	人間科学部									
	キャリア英語学科	—	—	—	—	—	—	6	2	8
	情報メディア学科	—	—	—	—	—	—	6	2	8
	心理学科	130	520	136	152	148	123	14	6	579
	食物栄養学科 管理栄養士課程	80	320	80	82	71	83	1	1	318
	食物栄養学科 健康実践栄養士課程	40	160	32	23	27	38	4	5	129
	人間科学部計	250	1,000	248	257	246	244	31	16	1,042
大学学部計	370	1,480	410	390	381	411	45	18	1,655	
大学院	人間科学研究科									
	人間科学専攻	10	20	0	1					1
	人間科学研究科(専門職)									
	臨床心理学専攻	20	40	25	19					44
	大学院計	30	60	25	20					45
合 計		1,460	5,090	1,593	1,603	1,546	525	157	125	5,549

(参考)令和6年5月1日現在

	学部・学科名等	定員		現員						合計
		入学定員	収容定員	1年 (3歳児)	2年 (4歳児)	3年 (5歳児)	4年	5年	6年以上	
高等学校 以下	帝塚山学院幼稚園	50	160	39	52	49				140
	帝塚山学院小学校	120	720	98	104	118	112	113	110	655
	帝塚山学院泉ヶ丘中学校	160	480	147	151	173				471
	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	280	840	331	316	299				946
	帝塚山学院中学校	200	600	264	260	264				788
	帝塚山学院高等学校	250	750	276	266	273				815
	高等学校以下計	1,060	3,550	1,155	1,149	1,176	112	113	110	3,815
大学	リベラルアーツ学部									
	リベラルアーツ学科	120	480	158	149	123	133	16	4	583
	リベラルアーツ学部計	120	480	158	149	123	133	16	4	583
	人間科学部									
	情報メディア学科	—	—	—	—	—	—	—	3	3
	心理学科	—	390	—	128	145	144	9	5	431
	食物栄養学科 管理栄養士課程	—	240	—	76	74	69	2		221
	食物栄養学科 健康実践栄養士課程	—	120	—	31	26	26	3	1	87
	人間科学部計	0	750	0	235	245	239	14	9	742
	総合心理学部									
	総合心理学科	130	130	139						139
	総合心理学部計	130	1,630	139	0	0	0	0	0	139
	食環境学部									
	管理栄養学科	80	80	99						99
	食イノベーション学科	40	40	25						25
	食環境学部計	120	120	124	0	0	0	0	0	124
	大学学部計	370	2,980	421	384	368	372	30	13	1,588
大学院	人間科学研究科									
	人間科学専攻	10	20	1	0	1				2
	人間科学研究科(専門職)									
	臨床心理学専攻	20	40	21	24	1				46
大学院計	30	60	22	24	2	0	0	0	48	
合計		1,460	6,590	1,598	1,557	1,546	484	143	123	5,451

注1.) 帝塚山学院大学では平成31年4月より入学定員を下記のとおり変更。

帝塚山学院大学リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科 130名から120名に変更  
 帝塚山学院大学人間科学部キャリア英語学科 50名から 30名に変更  
 帝塚山学院大学人間科学部情報メディア学科 70名から 50名に変更  
 帝塚山学院大学人間科学部心理学科 150名から130名に変更

注2.) 帝塚山学院大学では令和2年4月より下記の学科を募集停止。

帝塚山学院大学人間科学部キャリア英語学科(令和6年3月廃止)、帝塚山学院大学人間科学部情報メディア学科

注3.) 帝塚山学院大学では令和6年4月より下記の学部・学科を新設

帝塚山学院大学総合心理学部総合心理学科  
 帝塚山学院大学食環境学部管理栄養学科、帝塚山学院大学食環境学部食イノベーション学科

注4.) 帝塚山学院大学では令和6年4月より下記の学部・学科を募集停止

帝塚山学院大学人間科学部心理学科、帝塚山学院大学人間科学部食物栄養学科

## 4. 役員・教職員の概要

### (1) 理事会(令和5年度内異動を含む)

■理事	定員:12人以上25人以内	現員:14人	※は非常勤
理事長	野村正朗		
常務理事	柏木孝		
事業理事	萩原武		
理事	今井幸子	※	
理事	江口宗茂		
理事	河田悌一	※	
理事	北本暢		令和5年5月25日付辞任
理事	瀧山恵		
理事	津田謹輔		令和5年11月19日付退任
理事	寺田千代乃	※	
理事	土肥孝治	※	令和5年8月1日付退任
理事	西川隆蔵		令和5年5月26日付就任
理事	野村明雄	※	
理事	原充弘	※	
理事	福田順太郎	※	
理事	山田昌子	※	
理事	山本雅弘	※	

■監事	定員:2人又は3人	現員:3人	※は非常勤
監事	大西弘之		
監事	本井文夫	※	
監事	山根敬介	※	

■理事会、理事会常務委員会の開催回数	令和5年度
	理事会:4回
	理事会常務委員会:16回

■理事会、理事会常務委員会の議事内容	別表1参照
--------------------	-------

■役員賠償責任保険加入状況	日本私立大学協会の役員賠償責任保険に加入
---------------	----------------------

■役員 of 責任限定契約締結状況	非業務執行理事(非常勤理事)9名、監事3名が契約を締結
-------------------	-----------------------------



(2) 評議員会(令和5年度内異動を含む)

■ 評議員 定員:30人以上52人以内 現員:39人

※は非常勤

評議員	秋田悦子	※	
評議員	有田太郎	※	
評議員	安藤章二		令和5年10月20日付辞任
評議員	井元成浩		
評議員	今井幸子	※	
評議員	植田宏	※	
評議員	岡本敏嗣	※	
評議員	柏木孝		
評議員	加藤浩二		令和5年10月21日付就任
評議員	香月英明		令和5年10月21日付就任
評議員	神原利浩		
評議員	木下敏彦	※	
評議員	神山真弓	※	
評議員	五味義文	※	
評議員	須藤健一	※	
評議員	砂野有史		令和5年10月20日付辞任
評議員	田中尚寛	※	令和5年10月21日付就任
評議員	田中幸枝	※	
評議員	谷正宗	※	
評議員	谷村浩	※	
評議員	辻野裕子	※	令和5年6月1日付就任
評議員	津田謹輔		令和5年11月19日付退任
評議員	筒井規子		
評議員	鶴崎裕雄	※	
評議員	中村浩一	※	
評議員	西浦壽子	※	令和5年5月31日付辞任
評議員	西川隆蔵		令和5年5月25日付辞任
評議員	野村正朗		
評議員	萩原武		
評議員	長谷川正	※	
評議員	平井啓一	※	
評議員	平田康夫	※	
評議員	廣富靖以	※	
評議員	福原伸明		
評議員	古川繁浩	※	
評議員	細川博	※	
評議員	松本隆司	※	
評議員	松山文彦	※	
評議員	道野充宏	※	
評議員	山口多賀幸	※	
評議員	山下章	※	
評議員	山田昌子	※	
評議員	脇田忠昭	※	

■評議員会の開催回数  
 令和5年度  
 評議員会:3回

(3)教職員数(令和5年5月1日現在)  
 (教員)

	専任	任期制専任	常勤・契約	特任	非常勤	計
帝塚山学院幼稚園	9	3	1	0	1	14
帝塚山学院小学校	27	9	8	0	18	62
帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校	58	12	19	0	31	120
帝塚山学院中学校高等学校	60	9	22	0	65	156
帝塚山学院大学	リベラルアーツ学部	16	2	0	3	125
	人間科学部	24	3	4		
	大学院	2	1	1	0	9
合計	196	39	55	13	249	552

(職員)

	専任	任期制専任	契約	派遣	アルバイト	計
法人本部	15	6	11	3	1	36
住吉校幼小事務局	4	1	4	2	9	20
泉ヶ丘校事務局	6	0	10	4	4	24
住吉校中高事務局	3	1	3	10	2	19
大学事務局	27	1	15	13	5	61
合計	55	9	43	32	21	160

## 別表1 ①理事会の審議事項

開催年月日	監事の出席	議事内容
令和5年5月25日	有	第1号議案:2022年度事業報告及び決算について
		第2号議案:大学副学長 辞任について
		第3号議案:理事、評議員 辞任及び選任について
		第4号議案:理事の競業取引等承認について
		第5号議案:役員候補者選考委員会委員 重任について
		第6号議案:学長選考会議委員 辞任及び選任について
令和5年10月20日	有	第1号議案:2023年度補正予算について
		第2号議案:幼稚園園長、小学校校長、 泉ヶ丘中学校高等学校校長 退任及び選任について
		第3号議案:幼稚園副園長、小学校教頭、 泉ヶ丘中学校高等学校副校長 教頭 退任及び選任について
		第4号議案:本部事務局長 退職及び選任について
		第5号議案:理事、評議員 辞任、退任及び選任について
		第6号議案:学校法人帝塚山学院寄附行為 一部変更について
		第7号議案:学校法人帝塚山学院文書取扱規程 一部変更について
令和6年1月11日	有	第1号議案:大学学長 選任について
		第2号議案:大学副学長、大学院研究科長 退任及び選任について
		第3号議案:理事、評議員 退任及び選任について
		第4号議案:理事長職務代理者 退任及び選任について
令和6年3月26日	有	第1号議案:2024年度 事業計画、当初予算について
		第2号議案:学校法人帝塚山学院 寄附行為 一部変更について
		第3号議案:理事、評議員 退任、重任及び選任について
		第4号議案:各設置学校学則 一部変更について(泉ヶ丘高等学校、大学、大学院)
		第5号議案:役員賠償責任保険 契約更新について
		第6号議案:学長選考会議委員 退任及び選任について

別表1 ②理事会常務委員会の議事内容

回数	開催年月日	議事内容
令和5年度 第1回	令和5年4月13日	報告事項、その他
令和5年度 第2回	令和5年5月11日	2022年度事業報告及び決算について
		理事の競業取引等 承認について
		役員候補者選考委員会委員 委嘱関係
		資金運用委員会委員 委嘱関係
令和5年度 第3回	令和5年5月18日	教職員人事関係
		理事、評議員 辞任及び選任について
		学長選考会議委員 辞任及び選任について
		5月25日開催 理事会、5月29日開催 評議員会の議案について
令和5年度 第4回	令和5年6月8日	理事会常務委員会が推薦する2023年度 教育後援会 幹事(案)について
令和5年度 第5回	令和5年7月13日	大学新別館 空調設備更新工事について
令和5年度 第6回	令和5年8月3日	「学校法人帝塚山学院 専任職員採用に関する手続規程」の一部変更について
令和5年度 第7回	令和5年9月7日	理事の退任について
		学校法人帝塚山学院寄附行為 一部変更について
		学校法人帝塚山学院事務組織規程 一部変更について
令和5年度 第8回	令和5年10月5日	2023年度 補正予算について
		幼稚園園長、小学校校長、泉ヶ丘中学校高等学校校長 退任及び選任について
		幼稚園副園長、小学校教頭、泉ヶ丘中学校高等学校副校長、教頭 退任及び選任について
		本部事務局長 退職及び選任について
		評議員 辞任、退任及び選任について
		学校法人帝塚山学院文書取扱規程 一部変更について
		学校法人帝塚山学院大学専任教員採用に関する手続規程の一部変更
		10月19日開催 評議員会、10月20日開催 理事会の議案について
令和5年度 第9回	令和5年10月12日	小学校教頭、泉ヶ丘中学校高等学校副校長、教頭 退任及び選任について
		資金運用委員会委員 委嘱について
令和5年度 第10回	令和5年11月9日	報告事項、その他
令和5年度 第11回	令和5年12月14日	報告事項、その他
令和5年度 第12回	令和5年12月27日	大学学長 選任について
		大学副学長、大学院研究科長 退任及び選任について
		理事、評議員 退任及び選任について
		理事長職務代理者 退任及び選任について
		2024年1月11日開催 臨時理事会の議案について
令和5年度 第13回	令和6年1月11日	特別功労金の支給について
令和5年度 第14回	令和6年2月15日	帝塚山学院大学 学則、帝塚山学院大学大学院 学則 一部変更について
		役員賠償責任保険 契約更新について
令和5年度 第15回	令和6年3月7日	2024年度 事業計画、当初予算について
		学校法人帝塚山学院 寄附行為 一部変更について
		理事、評議員 退任、重任及び選任について
		学長選考会議委員 退任及び選任について
令和5年度 第16回	令和6年3月14日	泉ヶ丘高等学校学則 一部変更について
		学校法人帝塚山学院 事務組織規程 一部変更について
		情報セキュリティ基本方針の制定について
		学校法人帝塚山学院 個人番号及び特定個人情報取扱規程 一部変更について
		帝塚山学院 海外引率出張規程の一部変更について
		帝塚山学院大学 学長補佐に関する規程 廃止について
		帝塚山学院大学 基盤教育機構長規程 廃止について
		学校法人帝塚山学院 給与規程及び給与規程施行細則 一部変更について
		帝塚山学院大学 管理職員・役職員の職務に関する規程 一部変更について
		帝塚山学院大学における研究費の不正使用防止等に関する規程 一部変更について
3月22日開催 評議員会、3月26日開催 理事会の議案について		

## II 法人事業の概要

### 1 本学院の状況

元号が令和となり、早や5年の月日が経ちました。世界全体が未曾有の出来事に直面するとともに、AIなど情報化の進展や技術革新等が急速に進んでおり、大変革期を迎えています。一方で、少子化も年々進行し、令和5年度も前年度の数字を割り込んだ形となり、出生数は75万人台にとどまりました。子どもの数が減っているからこそ、一人ひとりの可能性を引き出し、子どもたちに個別最適な学びや協働的な学びを提供し、未来を切り拓く力を備える必要があります。教育が果たす役割は日々大きくなっています。

また、我々が身を置く私学にとっては、令和7年4月1日施行の私立学校法改正への対応も急務です。改正私立学校法では、学校法人自らが主体性をもってガバナンス改革を行わなければなりません。理事・理事会、監事、評議員・評議員会の権限分配の整理をはじめ、内部統制の充実化など階層的な仕組みを構築することで、不正やリスクを低減する必要があります。当然のことではありますが、これらのことを確実に実行することで、教育機関として社会の要請に応え、信頼を得て、発展していく姿勢が求められています。

本学院では、上記のことを念頭に置きながら、令和5年度も教育を推進することができました。令和5年度は、新型コロナウイルスが感染症の位置づけが5類へと移行し、転換点といえる1年だったでしょう。コロナ禍で得られた気づきを今に生かした教育活動を教職員一丸となり、各設置校において続けてまいりました。令和5年度の各設置校の主な取り組みは、下記の通りです。

幼稚園では、最大の特徴である「体験を通した学び」を日々進化させ、子どもたちの探求心や好奇心、思考力、協調性が自然に育まれるプログラムを実践しています。中でも、令和5年度、注力した取り組みは「夕食の提供開始」です。7時50分から18時30分までの預かり保育の中で、無添加で自然食の「夕食」を幼稚園で食べられる環境を整えました。保護者からは帰宅後の時間的余裕、精神的余裕が生まれたと好評です。少子化の波に負けず、保護者に「選んでもらえる幼稚園」としての知名度を今後も広げてまいります。

小学校では、20年ぶりに、西日本私立小学校教育研修会を本校で開催しました。「自ら進んで学ぶ意欲を引き出す～協働学習の在り方」をテーマとし、1年生から6年生まで8科目の授業を展開し、子どもたちと教員との自由で活発なやりとりを他校の先生方に見ていただきました。本校の伝統である「協働学習」は、一方通行の授業ではなく、自らが疑問を持ち、

仲間と話し合い、進んで学びを深めるスタイルが特徴です。今後も、伝統を引き継ぎ、次代で生き抜くことができる子どもたちを育ててまいります。

泉ヶ丘中学校高等学校では、「正解のない未来に総合知で挑む」というキャッチフレーズのもと、5つの行動目標を立て、教育活動を展開しています。年々、多様化する大学入試に向けて、カリキュラムの変革はもちろん、一人ひとりがめざす進学先に応じた学習内容の充実を図っているところです。その積み重ねが奏功し、令和6年春の卒業生については、国公立大学の現役合格者数が118名に上りました。また、国際数学オリンピックで銀メダルを獲得する生徒もおり、一人ひとりの強みを伸ばす教育が次々と開花しています。

中学校高等学校では、全国レベルでの活躍する生徒が目立った1年でした。中学校高等学校ともに全国一という快挙を成し遂げたのは、ダンス部です。メディアだけでなく数々の大舞台に立つチャンスも生まれ、生徒の自信につながっています。また、模擬国連大会に出場した生徒は、ウズベキスタンの大使になりきり、ウクライナ問題について英語で主張、議論をし、存在感を発揮できました。他にも多数の生徒が、自らの得意分野を生かしながら、活躍しています。グローバル社会で強みを生かして世界で飛躍できる女性を今後も育ててまいります。

大学は、急逝した津田前学長のバトンを受け継ぎ、西川新学長が令和6年4月の3学部体制化に向けて教職協働で準備を進め、新年度のスタートを切ることができています。特に令和5年度は、学生が企業や社会との連携活動へ積極的に参入できました。スイーツ心理学を企業の商品のイメージアップに生かしたり、レトルトカレーの開発を手掛け、百貨店を会場に販売したりと、多くの学生が自らの学びが社会につながっている実感を得ています。スムーズに社会への一歩を進められるよう、引き続き社会連携、産官学連携を進めてまいります。

このように、各設置校は、日々、理想の教育を追求し進化を続けています。変革に必要な投資は行わなければなりません。その結果、令和6年度予算につきましては、マイナス予算を計上する形となりましたが、次期中期計画の開始時期には黒字基調となるよう努力してまいります。

今後も、あらゆる教育に関する課題に対して真摯に向き合いながら、歴史に裏打ちされた「力の教育」を推進し、変化に強く、生きる力を身に付けた人を育て続けてまいります。

### Ⅲ 令和5年度 帝塚山学院の事業報告の骨子

#### 1. 令和5年度事業報告（法人本部）

1. エンロールメント・マネジメントの強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 募集定員の確保	・募集定員を超える入学者確保
(2) 私立学校法改正に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立学校法の改正、施行にむけて、寄附行為の変更、理事会と評議員会の位置づけ見直し及び選任手続等の原案策定</li> <li>・リスクマネジメント体制の確立</li> <li>・学内諸規程の再確認と必要に応じての改定実施</li> <li>・セキュリティ管理規程の見直しとセキュリティ推進体制の再確認の実施</li> </ul>

2. 教職協働の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 各校園へのサポート強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部、各校事務局の活性化 各校園とのコミュニケーション充実</li> <li>・学院全体の職場環境の向上 衛生委員会、働き方改革WGの活性化</li> </ul>
(2) 学院ブランドイメージの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各設置校のホームページの充実</li> <li>・法人本部ホームページの見直し</li> <li>・各部関連部署とのコンセンサス形成・連携強化</li> </ul>

3. 財務力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 月次決算制度と収支予測制度の運用と精度向上	・月次決算の運用と定期的な収支予測を実施し、令和5年度決算の早期化と令和6年度予算の戦略を検討する
(2) システム化の推進と業務効率の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学納金決済システムの導入</li> <li>・経費精算システムの導入取組</li> </ul>
(3) 組織の計画的・効率的配置・編成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学1キャンパス化に伴う人員配置の見直し</li> <li>・部門毎に収支バランスの取れた人件費率に向けた取組</li> <li>・各校園でのWGの継続開催及び長時間勤務者（教職員）との面談、業務の見直し</li> </ul>
(4) 教育後援会の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員選考委員会、役員会、幹事会の円滑な実施</li> <li>・教育後援会イベントの計画的遂行</li> </ul>
(5) 募金施策による増収	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まつかさ応援募金」への協力促進</li> <li>・「まつかさサポーターズ倶楽部」への協力要請</li> </ul>

## 2. 令和5年度事業報告（幼稚園）

1. エンロールメント・マネジメントの強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 教育の質の保証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学に向けた準備を意識した体験型プロジェクト保育の実施</li> <li>・ICT 機器を利用した分かりやすい保育の実施</li> <li>・テーマ:「嫌いを克服」をもとにした食育活動の実施</li> <li>・SDGs への取り組み</li> <li>・絵本の読み聞かせ年間「150冊」、音読活動の実施</li> <li>・災害時の単独避難行動の充実、避難防災訓練の実施、園児と共に園生活での危険な行動や場所を確認等安全教育の継続</li> <li>・縄跳び実施、戸外遊び時間の確保と充実、ドッジボールの実施等、運動能力・体力向上</li> <li>・挨拶、お礼、敬語、お箸検定、鉛筆検定、はさみ検定等マナー教育の充実</li> </ul>
(2) 指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員研修・園内研修の実施</li> <li>・脳科学プログラムをテーマにした研修への参加</li> <li>・安全教育・救命技能の向上</li> <li>・人事考課制度、評価の実施</li> <li>・担任ローテーションの実施のための人材育成と確保</li> <li>・目標・目的の明確化と共有を行った上での保育マネジメントの充実</li> </ul>
(3) 保育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した保育施設の改修</li> <li>・園庭環境の充実</li> </ul>
(4) 進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年中児から進路相談の実施、内部進学率の維持</li> </ul>
(5) 幼小連携の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼小担任懇談会の実施</li> <li>・小学校教員による幼稚園見学の実施</li> </ul>

2. 教職協働の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 募集活動の意識共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報の方法や具体的な募集方法の提案、協力、助言</li> </ul>
(2) 補助金獲得の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金獲得のための情報収集と提案を行い、防犯対策関係の補助金を獲得</li> </ul>
(3) 契約職員、アルバイトの有期雇用廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども子育て支援員の待遇改善を実施</li> </ul>

3. 財務力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 安定的財政基盤の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限りの園児募集活動を実施</li> <li>・具体的施策提示による寄付金募集（多数の御協力あり）</li> </ul>



### 3. 令和5年度事業報告（小学校）

1. エンロールメント・マネジメントの強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 教員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導力の向上のための取り組み 協働学習を定期的に行うための研修と体制づくり T T 授業の研究と実践 シラバス作成に向けての計画と教材開発 教科部会の活性化、学力情報の分析と共有 併設中学校の入試問題の分析と共有 進路指導授業の計画と実施</li> <li>・学級経営力向上のための研修充実と縦横の連絡を密にしたフォロー体制構築</li> <li>・人材の確保と適材適所配当</li> <li>・西日本私学小学校連合教員研修会（於：本校）の実施と成功</li> </ul>
(2) 学力（認知能力）を育成する教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上に向けた取り組みの継続と強化 放課後補習、少人数習熟度別授業、長期休暇講習会の実施等</li> <li>・漢字学習方法の精査</li> <li>・「進路ファイル」及び基礎学力表の周知、懇談での活用法の伝授</li> <li>・T A S C の充実</li> </ul>
(3) 非認知能力を育む教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活指導方針の教員への周知 「人間力」「生活力」「協調性」を高める指導の体系化と強化 しつけ三原則の徹底（挨拶・返事・くつ） 電車マナーの強化（安心安全教室実施） いじめ防止対策の強化 支援児童の情報共有 Q U 結果の分析と共有 P T A との連携強化</li> <li>・学校行事の意義の向上</li> <li>・協働学習の手法の確立と実施</li> <li>・給食の在り方と食育（満足度の高い給食）</li> <li>・「道徳」科目の確立</li> </ul>
(4) 未来につなぐ力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導の取組強化と周知 外部模試結果の分析と情報共有、進路ガイダンスの内容充実等</li> <li>・キャリア教育の充実、「キャリアパスポート」の継続</li> <li>・I C T 機器導入後の実践</li> <li>・英語教育の充実、T S S との連携等</li> </ul>

2. 教職協働の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 組織改革の計画的実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営方針の定期的な共有</li> <li>・管理職や主任業務の教員への周知、主任会議の継続</li> <li>・校長と教員との面談実施</li> <li>・指導記録の活用等 児童に対する教員連携強化</li> </ul>
(2) 教職員の勤務環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務軽減</li> <li>・教室等の改修、整備の計画的実施</li> </ul>

### 3. 令和5年度事業報告（小学校）

2. 教職協働の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(3) 各部署との連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帝塚山学院幼稚園との教育連携のための情報交換</li> <li>・両中学校高等学校との進路情報等共有、保護者への伝達</li> <li>・帝塚山学院大学からの教育実習生受け入れ</li> <li>・本部事務局との補助金等の外部資金獲得等の情報共有</li> <li>・アドミッションセンターとの情報共有徹底、円滑なコミュニケーション、業務分担の精査と協力、入試イベントの実施応援等連携</li> <li>・保護者等個人懇談充実、PTA集会等での連携強化</li> <li>・学校評価アンケート及び、種々の調査の実施と分析</li> </ul>

3. 財務力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 児童定員の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育内容の充実等 効果的な広報活動の実施</li> <li>・イベント参加者、受験者、入学者の数値目標提示と結果の達成</li> </ul>
(2) 適正な児童定員数と、学校授業料の段階的改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省方針に則った、児童定員数変更計画の段階的実施</li> </ul>
(3) 外部資金の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室改装をはじめとした補助金申請の取組強化</li> </ul>

### 4. 令和5年度事業報告（泉ヶ丘中学校高等学校）

1. エンロールメント・マネジメントの強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模試分析会による課題抽出</li> <li>・高3生 進路検討会の充実</li> <li>・推薦入試会議の円滑実施</li> <li>・進路の手引きの作成と活用</li> <li>・保護者向け、生徒向け進路説明会の充実</li> </ul>
(2) 国際教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイティブ教員の戦力化等 マネジメント強化</li> <li>・英語科との連動</li> <li>・検定試験対策動画の更新と活用</li> <li>・土曜英語講座の実施</li> <li>・進路結果の向上（進路指導部との連携）</li> <li>・国際英語コース内容の安定</li> <li>・海外大学進学を推進</li> <li>・留学実績の向上</li> <li>・ターム留学制度の更新</li> <li>・1ヶ月交換留学の安定</li> <li>・海外留学生の受け入れ</li> </ul>
(3) 入試対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット、ポスター、HP等 広報物の更新</li> <li>・入学後成績分析と学年連携</li> <li>・特待生ケア</li> </ul>

#### 4. 令和5年度事業報告（泉ヶ丘中学校高等学校）

1. エンロールメント・マネジメントの強化	
実施目標・計画	具体的取組
(4) 生徒指導の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案件の早期発見と対応</li> <li>・いじめ、SNS等研修会の実施</li> <li>・生徒会との連動（全校集会、挨拶運動、規程改訂）</li> <li>・生徒指導だよりの発行</li> </ul>
(5) 保健部体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検温体制と啓蒙活動</li> <li>・保健室、アシストルーム、カウンセリングの充実</li> <li>・学年との情報共有（ケーススタディ会議）</li> <li>・防災訓練の実施</li> <li>・コロナ5類相当に政策方針転換後の安全体制の変更</li> </ul>
(6) 行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育大会の実施</li> <li>・クロスカントリーの実施</li> <li>・芸術鑑賞会の開催</li> <li>・ココロの学校の開催（祖父江 佳乃 氏による講演会）</li> <li>・泉ヶ丘通信の発行</li> <li>・クラブ活動の充実</li> <li>・式典の統括（生徒会との連携）</li> </ul>
(7) 生徒会活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級委員による式典（始・終業式）の一部運営</li> <li>・研修旅行等宿泊行事での生徒主体による一部活動</li> <li>・文化祭（泉ヶ丘祭）、体育大会、生徒集会の運営</li> <li>・校内倫理啓蒙活動、ボランティア活動の推進</li> <li>・キャリア教育の推進</li> </ul>
(8) 教務部門の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者授業参観の実施（アンケート内容の活用）</li> <li>・教員授業見学の実施</li> <li>・新カリキュラムへの対応 （ICT活用、反転学習、情報科共通テスト導入対応）</li> <li>・新成績処理システムの導入</li> </ul>
(9) 組織的活動の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職会議、運営会議等 組織ごとの会議運営と全体方針の徹底</li> </ul>

2. 教職協働の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 有益な勤務時間管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員勤務時間管理の過去4年間の総括</li> <li>・外部クラブコーチの招聘</li> </ul>
(2) 教育施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内施設の営繕、改修 （PCL教室の全面改修、中庭の整備、防犯カメラ増設、生徒ホール天井鉄骨の塗装）</li> <li>・保護者自家用車送迎禁止に向けての対応</li> <li>・生徒の地域清掃活動、地域自治会行事参加等 地域連携</li> </ul>
(3) PTA、同窓会との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる連携強化</li> </ul>

3. 財務力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 入学定員の確保 （中学140名、高校3年コース140名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員確保に向けた取り組み （広報刷新、入試イベント実施等）</li> </ul>

#### 4. 令和5年度事業報告（泉ヶ丘中学校高等学校）

3. 財務力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(2) 補助金の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経常費補助金をはじめ、いじめ防止対策に対し支給される補助金の獲得</li> <li>・プロジェクト更新に伴う ICT 補助金獲得</li> </ul>
(3) 支出の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職の兼任、削減等による人件費の削減</li> </ul>
(4) 直行バス契約台数の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直行バス路線廃止に伴うマイクロバス契約の打ち切りを検討</li> </ul>

#### 5. 令和5年度事業報告（中学校高等学校）

1. エンrollment・マネジメントの強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 生徒指導力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創研講座へ外部講師招聘とアクリオSでの理科実験教室開催等、理系分野を充実</li> <li>・創研講座に関するインタビューを卒業生に行うとともに、講師として同講座への参加を依頼し、在校生へのフィードバックを実施</li> <li>・大学入試改革への対応 自己推薦型入試に求められる経験や実績を持つ生徒を育成</li> <li>・基本的な生活習慣の確立 保健室や保健支援委員会と協力し、コロナ禍を経験した生徒たちの心身についてケアを実施</li> </ul>
(2) 教科指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラーニングコモンズ第三期工事、アクリオSの第二期工事実施 物理室の改装を行い、アクリオSのオープンラボ機能をさらに充実</li> <li>・ICT環境の整備（貸与PCの増強とiPadの導入） 新入生へのPCリースを継続しながら、一部のコースにiPadを導入し、特別教室に縛られない授業での運用を開始</li> <li>・教員研修の実施 大学入試共通テスト・自己推薦型入試の研究</li> <li>・優秀な人材の採用 教科「情報」の受験指導およびアクリオSの実験機器を活用するための教員を配当</li> <li>・windowsのバージョン更新に伴い、教務システムを新たに導入</li> </ul>
(3) 生徒の学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エトワール上位層の模試成績の維持・向上 共通テスト・国立2次対策</li> <li>・プルミエ生の現役大学合格率の維持・向上 学校推薦型・総合型選抜対策</li> <li>・関学コース生の英検取得率の維持・向上 CEFR基準を元にした英語指導</li> </ul>

2. 教職協働の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 教職協働の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教頭・事務長の連携 会議と連絡を密にしながら、教育改善や施設改装を適宜実施</li> </ul>

## 5. 令和5年度事業報告（中学校高等学校）

2. 教職協働の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 教職協働の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドミッションセンター幼小・中高分割の検討</li> <li>・教職・事務職の業務相互乗り入れ 学校業務全体を把握・分析し、協働による労務軽減を模索</li> </ul>
(2) ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職の業務内容精査 労務軽減と学校運営の効率化を企図</li> <li>・教員の業務量および労働時間の適正化 長時間労働の教員数と全体の労働時間をワーキンググループで把握し、一部教員の労働軽減に努めた</li> </ul>
(3) 教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室数の確保 3階パソコン室を普通教室に、地下AVホールを特別教室2室に改装</li> <li>・教員数の確保 教科「情報」の指導を行える教員およびクラス数・生徒数に見合った教員数を確保</li> </ul>

3. 財務力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 入試募集の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した入試募集による予算基盤の強化 アフターコロナで変化する受験生のニーズを察知し、それに応えるイベントを企画</li> <li>・入試方式による募集力の強化 市場の変化に応じた柔軟な入試方式を導入</li> <li>・データ分析力の強化</li> </ul>
(2) 外部資金の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPad導入に際して、府のICT補助金を獲得</li> </ul>

## 6. 令和5年度事業報告（大学・大学院）

1. エンロールメント・マネジメントの強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 教育課程の質の保証	<p>大学セカンドステップ方針を踏まえた学科再編に向けた検討</p> <p>【学長会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省に総合心理学部、食環境学部の届出を完了し、必要となる教員を採用</li> <li>・早期卒業制度の導入を含む学部及び研究科カリキュラムの検討と連携調整を実施</li> </ul> <p>基礎学力の強化と検証</p> <p>【基盤教育機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の評価に基づき、1年次・2年次の基盤教育科目を継続実施</li> <li>・データサイエンスに関するカリキュラムの継続実施</li> </ul> <p>【リベラルアーツ学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学修状況を個別に調査し、指導方針を策定・実行</li> </ul> <p>【心理学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統計科目の整備が完了し、担当者との内容調整を実施</li> <li>・大学院合格者、不合格者の実力試験結果のアセスメント実施とアクションプランを策定</li> </ul>

6. 令和5年度事業報告（大学・大学院）

1. エンロールメント・マネジメントの強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 教育課程の質の保証	<p>【食物栄養学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎科目（基礎化学、化学）の配当時期見直しについての調査を実施</li> </ul> <p>学修成果の点検・評価</p> <p>【基盤教育機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次終了時の「10のちから」に関する点検実施</li> <li>・「10のちから」に関するFD実施</li> </ul> <p>【リベラルアーツ学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学修状況を個別に調査し、指導方針を策定・実行</li> </ul> <p>【心理学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアセンターとの情報交換会を開催し、目指すべき人材像についての意見交換を実施</li> </ul> <p>【食物栄養学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験対策室の設置と対策チームによる通年補講を実施。個人に応じた指導を強化</li> </ul> <p>退学者率改善に向けての対応</p> <p>教育改善への継続的取り組み</p> <p>【基盤教育機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度実績を踏まえた、カレッジコミュニティの継続</li> <li>・読書演習の拡充実施</li> <li>・「10のちから」及び「知的好奇心の活性化」の観点から、各授業の授業手法等の改善実施</li> </ul> <p>【心理学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抽選科目の運用改善・入学者増加に伴うクラス増設等</li> <li>・養護教諭採用試験合格者数増に向けて継続的な学修支援（現役合格5名）</li> <li>・希望者に対する公務員（心理系専門職）の情報提供</li> <li>・「産業心理学実習」、「社会心理学実習」、「演習」とタイアップした企業連携活動の実施</li> </ul> <p>保護者との連携強化</p> <p>【食物栄養学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生各自がモチベーションを高めて主体的に学修するよう指導する方策の継続的検討及び実践</li> </ul>
(2) 学修支援の充実	<p>学生の能力に応じた入学前教育の実施</p> <p>学修支援体制の充実（多様な授業形態の推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンデマンド形態授業遵守事項の遵守状況検証</li> <li>・オンデマンド形態授業の教育効果検証と見直し</li> <li>・多様なメディアを高度に利用して行う授業についての申し合わせを策定</li> </ul>

## 6. 令和5年度事業報告（大学・大学院）

1. エンロールメント・マネジメントの強化	
実施目標・計画	具体的取組
(2) 学修支援の充実	学生の自主学習や教員とのコミュニケーション推進 テツカポートフォリオ活用、ディプロマ・サブリメントの発行 IRを活用した教学マネジメントの実行
(3) キャリア支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内定率100%達成に向けての就職支援ナビ充実と強化</li> <li>・キャリアの時間の運営 学生にとって効率的かつ充実した講座を実施</li> <li>・マナーの帝塚山学院（資格取得強化）</li> <li>・帝塚山学院大学独自の企業・団体の開拓</li> </ul>
(4) 学生サービスの向上	<p>多様な学生生活活動の支援（学生生活活動等の活性化）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生会ミーティングの定期的開催</li> <li>・学生生活活動充実のための補助金支援の実施</li> <li>・入学式、入学ガイダンス等学内行事への学生参画推進</li> </ul> <p>学生指導及び学生生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席データ分析を基にした学生面談実施と退学者削減</li> <li>・父母等との懇談会等での連携強化</li> </ul> <p>経済的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生・父母等のニーズに基づく学内奨学金制度見直し</li> <li>・学外奨学金の適切な情報提供</li> <li>・タイムリーな経済支援サービスに向けての改善</li> </ul>
(5) 学修環境の整備	<p>食堂の改善、図書館の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子ジャーナルの導入</li> <li>・学生向け一般書籍の電子BOOKの導入</li> </ul> <p>IT活用環境の改善</p> <p>企業とのコラボ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業と各学科の産学連携活動の継続、インターンシップの実施と定着化</li> <li>・食堂厨房リニューアル化の実施</li> </ul>
(6) 地域社会への貢献	地域連携事業の強化

2. 教職協働の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 教学マネジメントの機能性	<p>学長会議、執行部の意思決定プロセスの明確化</p> <p>組織における権限と責任の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント・プランに基づくアセスメント活動とIR機能の活用</li> </ul> <p>中期計画の実行と検証、認証評価にむけた自己点検・評価体制の構築及び運用</p>

## 6. 令和5年度事業報告（大学・大学院）

2. 教職協働の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(2) 教員の配置・職能開発、職員の研修	教員評価実施  FD 研修会の定期実施
(3) 内部質保証の実施	内部質保証システムの実質化 ・ 認証評価受審への自己点検・評価報告書ベース案作成  アセスメント・プランによる学内取組の体系化と継続的な運用

3. 財務力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 入学定員の充足	入学者数の確保 ・ 入学者選抜方法の検証と改善 ・ 入試別定員や内容の見直し ・ 認知度の向上、広報活動の強化 ・ 大学公式サイト掲載内容見直しとリニューアルの実施 ・ 令和7年度募集に向けた認知度の向上 ・ オープンキャンパス動員目標達成 ・ 大学見学会実施等高大接続の強化 ・ オープンキャンパスと入試の連動性強化 ・ 入試実施方法の検証と改善 ・ 高校訪問・校内ガイダンスの体制強化
(2) 外部資金の獲得	・ 私立大学等改革総合支援事業のタイプ1選定 ・ 「教育の質に係る客観的指標」による経常費補助金の増額達成 ・ 「情報の公表に係る調査票」全項目達成
(3) 人件費の抑制	教員数の適正化、職員組織のスリム化と専任職員の確保
(4) 物件費の削減	購入什器・工事等の仕様の再点検等、予算管理の徹底  施設管財の計画的な実施  委託業務の見直しと効率的な委託業者の活用



## 7. 令和5年度学生異動及び卒業生の進路

### 帝塚山学院幼稚園 入試・在園・退園・進学状況

【入試状況】

	年少（3年保育）		定員充足率 %	年中（2年保育）		年長（1年保育）	
	志願者数	合格者数		志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
令和4年度	53【4】	52【4】	100.0	3【2】	3【2】	3【1】	3【1】
令和5年度	56【3】	54【1】	106.3	4	2	0	0
令和6年度	42【2】	41【1】	81.3	3【2】	2【2】	2【2】	1【1】

【 】は11, 12, 1, 2, 3月入試者数、内数。

【在園状況】

	年少		年中		年長		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
令和4年度	15	33	23	33	19	35	57	101
令和5年度	16	35	14	35	23	33	53	103
令和6年度	19	20	17	35	12	37	48	92

【退園状況】

	人数
令和3年度	1
令和4年度	3
令和5年度	3

【進学状況】 令和5年度卒園生

進学先	人数	
	男子	女子
帝塚山学院小学校	13	24
その他私立小学校	6	6
国立小学校	0	0
公立小学校	4	3
その他	0	0
総計	23	33

帝塚山学院小学校 入試・在籍・退学・進学状況

【入試状況】

	新1年										募集定員	定員充足率 %
	志願者			合格者			入学者					
	内部	外部	計	内部	外部	計	内部	外部	計			
令和4年度	41	112	153	41	103	144	41	82	123	114	107.9	
令和5年度	49	119	168	49	82	131	49	53	102	102	100.0	
令和6年度	37	93	130	37	74	111	37	61	98	102	96.1	

【在籍状況】

	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計				
令和4年度	41	82	123	40	74	114	31	83	114	42	68	110	27	80	107	216	465	681
令和5年度	35	66	101	40	81	121	40	74	114	36	76	112	39	68	107	221	448	669
令和6年度	40	58	98	35	69	104	39	79	118	31	82	113	36	74	110	218	437	655

【転学状況】

	人数
令和3年度	3
令和4年度	8
令和5年度	10

【進学状況】令和5年度卒業生

進 学 先	人 数	
	男子	女子
私立中学校	0	42
帝塚山学院	2	7
帝塚山学院泉ヶ丘 学院小計	2	49
		51

進 学 先	人 数	
	男子	女子
公立中学校	3	3
その他学校・留学	2	1
		0
公立中学校・その他学校合計	5	4
		9

私立中学校	東大寺学園	1		1
	灘	2		2
	清風	5		5
	明星	1		1
	甲南	1		1
	大阪星光	4		4
	四天王寺		1	1
	大谷		3	3
	初芝立命館	2	1	3
	同志社		1	1
	清風南海	6	1	7
	帝塚山学園	0	2	2
	梅花		1	1
	同志社香里	1	0	1
	大阪桐蔭	1		1
	開明	1	1	2
	関西大学第一	1		1
	大阪女学院		3	3
	清教学園	1		1
	浪速	1		1
	大阪体育大学浪商	1		1
	ハロウインターナショナル安比	2		2
	近畿大学附属			0
	初芝富田林	1		1
	武庫川女子		1	
学院外 私学小計		32	15	46

私学合計	34	64	98
------	----	----	----

総 計	39	68	107
-----	----	----	-----

帝塚山学院泉ヶ丘中学校 入試・在籍・退学・進学状況

1) 入試状況

	新 1 年		入学定員	定員充足率
	志願者	合格者		
令和4年度	853	584	140	123.6%
令和5年度	852	552	140	108.6%
令和6年度	810	533	140	105.0%

2) 在籍者数

	1年			2年			3年			計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
令和4年度	108	173	281	103	167	270	96	155	251	495
令和5年度	95	152	247	107	172	279	102	166	268	490
令和6年度	81	147	228	95	151	246	108	173	281	471

3) 転学者数

	人数
令和3年度	2名
令和4年度	1名
令和5年度	4名

4) 進学先

1. 帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	155名
2. その他	9名
3. 中学浪人	
4. 海外留学	1名

私立高校全日制5名、私立高校通信制4

帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 入試・在籍・退学・進学状況

1) 入試状況

	新 1 年										入学定員	定員充足率
	志願者					合格者						
	内部		外部		計	内部		外部		計		
令和4年度	151	455	606	151	453	604	151	159	310	280	110.7%	
令和5年度	151	513	664	151	507	658	151	168	319	280	113.9%	
令和6年度	155	499	654	155	494	649	155	176	331	280	118.2%	

2) 在籍者数

	1年				2年				3年				計	
	男	女	計	計	男	女	計	計	男	女	計	計	計	
令和4年度	129	158	287	409	181	167	348	529	140	129	269	409	409	
令和5年度	179	177	356	520	179	177	356	520	151	140	291	520	520	
令和6年度	319	306	625	942	151	140	291	418	180	176	356	528	528	
	310	325	635	911	331	316	647	946						

3) 転退学者数

	人数
令和3年度	21名
令和4年度	15名
令和5年度	10名

# 令和6年度 帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 大学合格状況

卒業生317名(6年コース155名、3年コース162名)

4月3日判明分

国立大学	現役生	既卒生	総計
京都	4		4
大阪	5	2	7
神戸	3	1	4
東京工業	1		1
北海道	3		3
東北	1		1
奈良女子	4		4
大阪教育	7		7
奈良教育	1		1
和歌山	22	1	23
京都工芸繊維	1		1
北見工業	2		2
信州	1	1	2
電気通信	1		1
富山	1		1
三重	4	1	5
岡山	1		1
広島	2		2
鳥取	2	1	3
島根	1		1
徳島	7		7
高知	1		1
愛媛	2		2
山口	1		1
長崎	1		1
宮崎		1	1
九州工業	1		1
公立大学	現役生	既卒生	総計
大阪公立	9	1	10
札幌医科	1		1
奈良県立医科		1	1
和歌山県立医科	4		4
奈良県立	7		7
兵庫県立	4		4
京都府立	1		1
京都市立芸術		1	1
滋賀県立	1		1
横浜市立	1		1
名古屋市立	1		1
石川県立	1		1
岡山県立	2		2
広島市立	1		1
下関市立	2		2
周南公立	1		1
高知工科	2		2
<b>国公立大学 計</b>	<b>118</b>	<b>11</b>	<b>129</b>

私立大学	現役生	既卒生	総計
慶應義塾	1		1
上智	1		1
中央	3		3
関西学院	83	5	88
関西	94	5	99
同志社	23	6	29
立命館	25	2	27

## 医学部医学科

大学名	現役生	既卒生	総計
富山	1		1
徳島	1		1
宮崎		1	1
奈良県立医科		1	1
和歌山県立医科	1		1
札幌医科	1		1
順天堂	1		1
大阪医科薬科	1	1	2
関西医科	4	1	5
近畿	2	1	3
兵庫医科	1	1	2
東海	1	2	3
愛知医科		1	1
金沢医科		1	1
岩手医科	1		1
川崎医科		1	1
福岡		1	1
<b>医学部医学科 計</b>	<b>15</b>	<b>12</b>	<b>27</b>

## 歯学部

大学名	現役生	既卒生	総計
大阪	1		1
大阪歯科	4		4
朝日	2	1	3
松本歯科		1	1
鶴見		1	1
明海		1	1
<b>歯学部 計</b>	<b>7</b>	<b>4</b>	<b>11</b>

## 薬学部

大学名	現役生	既卒生	総計
徳島	2		2
和歌山県立医科	2		2
名古屋市立	1		1
立命館	1		1
京都薬科	3		3
近畿	3		3
大阪医科薬科	5		5
武庫川女子	1		1
摂南	11		11
大阪大谷	3		3
神戸学院	3		3
<b>薬学部 計</b>	<b>35</b>	<b>0</b>	<b>35</b>

## 獣医学部

大学名	現役生	既卒生	総計
岡山理科	1	1	2
<b>獣医学部 計</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>

## 海外大学

大学名	現役生	既卒生	総計
テーラーズ	1		1
カルガリー	1		1
<b>海外大学 計</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>2</b>

帝塚山学院中学校 入試・在籍・退学・進学・進学状況

【入試状況】

	志願者		新1年 合格者				入学者		募集定員	定員充足率 %	
	内部	外部	内部	外部	計	内部	外部	計			
											計
令和4年度	36	1433	1469	36	1100	1136	36	233	269	180	149.4
令和5年度	38	1241	1279	38	933	971	38	226	264	180	146.7
令和6年度	41	1463	1504	41	1108	1149	41	223	264	180	146.7

【在籍状況】

	1年 子		2年 子		3年 子		合 計
	女	子	女	子	女	子	
令和4年度	269	269	275	275	255	255	799
令和5年度	264	264	268	268	268	268	800
令和6年度	264	264	260	260	264	264	788

【転学状況】

	人数
令和3年度	5
令和4年度	9
令和5年度	11

【進学状況】 令和5年度卒業生

進 学 先	人数	
	女	子
帝塚山学院高等学校	246	246
その他私立高等学校	15	15
公立高等学校	4	4
留 学	0	0
その他	1	1
総 計	266	266

帝塚山学院高等学校 入試・在籍・退学・進学状況

【入試状況】

	新1年												募集定員	定員充足率 %
	志願者				合格者				入学者					
	内部	外部	計	内部	外部	計	内部	外部	計	内部	外部	計		
令和4年度	247	53	300	247	53	300	246	34	280	246	34	280	260	107.7
令和5年度	236	56	292	236	56	292	236	34	270	236	34	270	250	108.0
令和6年度	246	54	300	246	54	300	246	30	276	246	30	276	250	110.4

【在籍状況】

	1年		2年		3年		合計
	女子	男子	女子	男子	女子	男子	
令和4年度	283	【1】	248		220		751
令和5年度	271		277		244		792
令和6年度	276		266		273		815

【 1 】は留年者数、内数。

【転退学状況】

	人数
令和3年度	8
令和4年度	9
令和5年度	9



【進学状況】令和5年度卒業生

		合格実績		
大学	現役	既卒	合計	合計
大阪	1		1	1
神戸(医学部医学科)		1	1	1
北海道	1		1	1
鳥取	1		1	1
三重県立看護	1		1	1
福知山公立	1		1	1
京都市立芸術	1		1	1
聖マリアーナ医科(医学部医学科)		1	1	1
金沢医科(医学部医学科)		1	1	1
川崎医科(医学部医学科)		1	1	1
関西学院	116		116	116
関西	7		7	7
同志社		1	1	1
立命館	8		8	8
京都産業	4	1	5	5
近畿	14		14	14
龍谷	3		3	3
撰南	1		1	1
神戸学院	1		1	1
追手門学院	7		7	7
桃山学院	9		9	9
大和	6		6	6
大阪医科薬科	1		1	1
兵庫医科	1		1	1
大阪歯科	1		1	1
朝日	1		1	1
同志社女子	3	1	4	4
京都女子	3		3	3
神戸女学院	9		9	9
武庫川女子	4	1	5	5
上智	1		1	1
中央	1		1	1
順天堂	1		1	1
関西外国語	2		2	2
大阪芸術	4		4	4
大阪音楽	2		2	2
帝塚山学院	11		11	11
その他4年制大学	45	3	48	48
小計	272	11	283	283

短大等	現役	既卒	合計
短大	8		8
専門学校	7		7
その他	0		0
小計	15	0	15
合計	287	11	298
留學その他	3		3
進學準備	5		5
総計	295	11	306

帝塚山学院大学 入試・在籍・退学・進路状況

【入試状況報告】

募集定員	令和4年度				令和5年度				令和6年度					
	入国科学部		全体		入国科学部		全体		入国科学部		全体			
	リベラルアーツ	心理	食物管理	食物健康	リベラルアーツ	心理	食物管理	食物健康	リベラルアーツ	総合心理	総合心理	食イノベーション		
370	120	130	80	40	370	120	130	80	40	370	120	130	80	40
受験者	639	675	284	169	1767	608	545	216	131	1500	697	673	369	247
合格者	300	379	228	129	1036	272	441	179	103	995	532	224	99	205
入学者	144	159	84	27	414	162	136	80	21	410	158	99	25	421
定員充足率	1200%	122.3%	105.0%	67.5%	111.9%	135.0%	104.8%	100.0%	80.0%	110.8%	131.7%	123.9%	69.5%	113.8%

【大学 在籍者・退学状況】

在学者数(令和6年4月1日現在)

募集定員	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	リベラルアーツ学部		心理学部		リベラルアーツ学部		心理学部		リベラルアーツ学部		心理学部	
	男	女	計	減	男	女	計	減	男	女	計	減
38	23	121	144	25	137	162	23	135	158	△4	120	38
39	38	107	146	22	111	133	23	127	150	17	120	30
38	31	133	171	32	103	135	19	106	125	△10	120	5
31	31	108	139	39	118	144	183	38	116	△28	120	34
131	469	600	118	495	613	103	484	587	△28	480	107	

募集定員	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	人間科学部		心理学部		人間科学部		心理学部		人間科学部		心理学部	
	男	女	計	減	男	女	計	減	男	女	計	減
46	30	76	6	2	8	2	1	3	△5	32	△5	3
46	30	76	6	2	8	2	1	3	△5	32	△5	3

募集定員	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	人間科学部		心理学部		人間科学部		心理学部		人間科学部		心理学部	
	男	女	計	減	男	女	計	減	男	女	計	減
38	121	159	40	96	136	35	104	139	3	130	9	
51	110	161	37	115	152	37	94	131	△21	130	1	
40	92	132	49	99	148	36	109	145	△3	130	15	
37	102	139	41	98	139	37	102	139	△3	130	9	
130	363	571	170	409	579	163	409	374	△3	520	59	

募集定員	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	人間科学部		管理栄養学部		人間科学部		管理栄養学部		人間科学部		管理栄養学部	
	男	女	計	減	男	女	計	減	男	女	計	減
14	97	111	19	93	112	15	84	99	△13	80	19	
19	88	107	13	92	105	13	64	77	△28	80	△3	
17	111	128	15	83	98	5	69	74	△24	80	△6	
23	107	130	16	116	132	11	61	72	△60	80	△8	
73	403	476	63	384	447	44	278	322	△125	320	2	

募集定員	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	食イノベーション学部		心理学部		食イノベーション学部		心理学部		食イノベーション学部		心理学部	
	男	女	計	減	男	女	計	減	男	女	計	減
10	15	25	25	15	25	0	0	0	0	0	△15	
6	25	31	31	25	31	0	0	0	0	0	△6	
7	19	26	26	19	26	0	0	0	0	0	△9	
4	27	31	31	27	31	0	0	0	0	0	△9	
27	88	115	113	88	113	0	0	0	0	0	△47	

募集定員	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	キャリア英語学部		心理学部		キャリア英語学部		心理学部		キャリア英語学部		心理学部	
	男	女	計	減	男	女	計	減	男	女	計	減
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	25	53	4	4	4	0	0	0	0	0	△8	
28	23	51	4	4	4	0	0	0	0	0	△8	

募集定員	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	人間科学部		管理栄養学部		人間科学部		管理栄養学部		人間科学部		管理栄養学部	
	男	女	計	減	男	女	計	減	男	女	計	減
75	339	414	84	326	410	83	338	421	11	370	51	
109	305	414	72	318	390	79	310	389	△1	370	19	
95	336	431	96	285	381	67	303	370	△61	370	0	
183	332	515	109	365	474	112	307	419	△55	489	49	
462	1312	1774	381	1294	1659	341	1258	1599	△56	1480	119	

退学者数

退学者数	令和4年度	令和5年度	令和6年度
真駒理由	47	65	77
一身上の都合	26	24	16
進路変更	73	89	93
計	146	178	186

業 種	帝塚山学院大学							
	大学計	リベラルアーツ学部	人間科学部					学部計
		リベラルアーツ学科(L)	情報メディア学科(C)	心理学科(H)	食物栄養学科 管理栄養士課程 (M)	食物栄養学科 健康実践栄養士課程 (NP)	キャリア英語学科(S)	
人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
1 農業、林業、漁業	0	0	0	0	0	0	0	0
2 建設業	5	3	0	2	0	0	0	2
3 鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0	0
4 製造業	33	14	0	6	5	7	1	19
5 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0
6 情報通信業	19	11	0	4	3	1	0	8
7 運輸業、郵便業	14	9	0	4	0	1	0	5
8 卸売業	21	9	0	7	2	3	0	12
9 小売業	62	15	0	23	14	8	2	47
10 金融・保険業	9	7	0	1	0	1	0	2
11 不動産・物品賃貸業	7	3	0	3	1	0	0	4
12 学術研究、専門・技術サービス業	4	2	1	1	0	0	0	2
13 宿泊業・飲食サービス業（除給食業）	19	13	0	2	0	4	0	6
14 給食業	19	0	0	0	16	3	0	19
15 生活関連サービス・娯楽業	11	7	1	2	0	1	0	4
16 教育、学習支援業	19	1	0	15	3	0	0	18
17 医療・福祉業	54	6	0	16	28	4	0	48
18 複合サービス事業	2	1	0	1	0	0	0	1
19 その他サービス業	34	23	1	8	0	2	0	11
20 公務	6	2	0	3	1	0	0	4
21 分類不能	1	0	0	0	1	0	0	1

99 【進学】	12	6	0	5	0	1	0	6
---------	----	---	---	---	---	---	---	---

卒業者数	408	156	4	122	80	40	6	252
就職希望者数	350	130	4	103	75	35	3	220
進学希望者数	12	6	0	5	0	1	0	6
進学決定者数	12	6	0	5	0	1	0	6
就職者数	339	126	3	98	74	35	3	213
実就職率(就職者数/卒業者数-進学者)	85.6%	84.0%	75.0%	83.8%	92.5%	89.7%	50.0%	86.6%
就職率(就職者数/就職希望者数)	96.9%	96.9%	75.0%	95.1%	98.7%	100.0%	100.0%	96.8%

\* 就職者は正規雇用者、自営業、個人事業主、非正規雇用者のうち契約期間が1年以上かつ一週間あたり30時間以上勤務を予定しているもの

【入試状況報告】

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	臨床心理学専攻 (専門職学位課程)	人間科学専攻 (修士課程)	臨床心理学専攻 (専門職学位課程)	健康科学コース 情報・認知科学コース	臨床心理学専攻 (専門職学位課程)	健康科学コース 情報・認知科学コース
募集定員	20	10	20	10	20	10
志願者	54	1	50	0	51	1
受験者	51	1	48	0	47	1
合格者	26	1	30	0	28	1
入学者	20	1	25	0	21	1
定員充足率	100%	10%	125%	0%	105%	10%

【就職等進路一覧】 令和6年4月1日現在

【令和5年度修了者】	
雇用形態	職種
常勤	心理職
非常勤	心理職
合計	
	人数
	7
	8
	0

【在籍者・退学状況】

在学者数(令和6年4月1日現在)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		前年度比増減	募集定員	募集定員比増減
	男	女	男	女	男	女			
1年	臨床	8	12	20	10	15	25	20	1
	人間科学	1	0	1	0	0	0	10	△ 9
2年	臨床	6	13	19	8	11	19	20	5
	人間科学	0	0	0	1	0	1	10	△ 9
合計	臨床	14	25	39	18	26	44	40	6
	人間科学	1	0	1	1	0	1	20	△ 18
	計	15	25	40	19	26	45	60	△ 12

退学者数

異動理由	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一身上の都合	1	0	3
計	1	0	3

## IV 財務の概要

### 1 令和5年度決算の概要

財産目録、資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書および貸借対照表を別掲していますが、事業活動収支計算書を基に決算の概要を以下の通りご説明します。

#### 1 教育活動収支

教育活動収入は、前年比 61,405 千円減少の 6,978,422 千円となりました。前年度と比較した主な増減の要因は次のとおりです。

- (1) 学生生徒等納付金は前年度に比べ、49,014 千円の減少となりました。学生数が減少したことに伴い、総額は 4,701,258 千円となりました。

また、補助金は 51,077 千円減少しましたが、寄付金は 23,861 千円増加しました。

学生数

(単位：人)

	令和4年 5 月 1 日現在	令和5年 5 月 1 日現在
幼稚園	158	156
小学校	680	669
泉ヶ丘中学校高等学校	1,406	1,432
中学校高等学校	1,548	1,592
大学・大学院	1,791	1,700
合計	5,583	5,549

納付金 ( ) 内は、前年度決算額との増減を示し、△は減少額。

幼稚園	119,045 千円	( 19,436 千円)
小学校	514,166 千円	( 19,006 千円)
泉ヶ丘中学校高等学校	896,830 千円	( 7,535 千円)
中学校高等学校	1,100,748 千円	( 22,124 千円)
大学・大学院	2,070,469 千円	( △117,114 千円)
合計	4,701,258 千円	( △49,013 千円)

- (2) 雑収入は、退職金財団からの交付金収入が 11,557 千円減少しましたが、施設設備利用料収入の増加 14,812 千円等により、11,746 千円の増加となりました。

## 2 教育活動支出

教育活動支出は、前年比 46,822 千円増加の 7,052,617 千円となりました。前年度と比較した主な増減の要因は次のとおりです。

- (1) 人件費のうち、教職員人件費は 4,176,645 千円と 16,939 千円減少となりました。退職金関係支出は退職金支払・退職給与引当金繰入額等の増加が 98,396 千円となり退職金関係支出は 250,316 千円で、人件費全体では 81,457 千円増加の 4,426,961 千円となりました。
- (2) 教育研究経費と管理経費の合計額は 2,625,596 千円で 34,695 千円減少しました。減価償却費は増加しましたが、大学の奨学費支出が減少したことによるものです。

以上の要因により教育活動収支差額は、前年比 108,228 千円収支悪化の 74,195 千円の赤字となりました。

## 3 教育活動外収支

収入の部は受取利息・配当金収入および収益事業収入の合計 47,648 千円となりました。支出の部は計上項目がなかったことにより、教育活動外収支差額は、47,648 千円の黒字となりました。

教育活動収支および教育活動外収支を合わせた経常収支差額は、前年比 91,404 千円収支悪化の 26,548 千円の赤字となりました。

## 4 特別収支差額

収入の部は、施設設備助金収入と現物寄附等を合計 32,495 千円計上しました。支出の部は各設置校で不要となった図書資産処分差額等を 67 千円計上しました。以上の要因により特別収支差額は 32,428 千円の黒字となりました。

基本金組入前当年度収支差額は、前年比 87,610 千円収支悪化となりましたが、5,880 千円の黒字となりました。

## 5 基本金組入額

当年度は、住吉校キャンパスと泉ヶ丘中学校高等学校の体育館及び大学・大学院の教室の空調設備の改修を実施したことなどから、305,218 千円計上しました。

当年度収支差額は前年比 93,138 千円収支悪化の 299,338 千円マイナスとなり、基本金取崩額を加味した翌年度繰越収支差額は 7,714,489 千円マイナスとなりました。

## (1) 令和5年度財産目録

### 財 産 目 録

令和6年3月31日現在

I 資産総額	21,263,523,825 円
うち 基本財産	18,573,521,224 円
運用財産	2,642,957,043 円
収益事業用財産	47,045,558 円
II 負債総額	2,542,354,141 円
III 正味財産	18,721,169,684 円

区 分	金 額
I 資産額	
(一) 基本財産	18,573,521,224 円
1 土地	76,846.99 m <sup>2</sup> 2,494,546,470 円
2 建物	62,347.71 m <sup>2</sup> 8,750,104,971 円
附属建物	114.92 m <sup>2</sup> 8,376,038 円
構築物	292,693,799 円
3 図書	356,181 冊 1,059,788,809 円
4 教具・校具・備品	8,136 点 748,276,406 円
5 その他	5,219,734,731 円
(二) 運用財産	2,642,957,043 円
1 現金、預金	2,514,076,375 円
2 有価証券	0 円
3 その他	128,880,668 円
(三) 収益事業用財産	47,045,558 円
1 預金	47,045,558 円
2 未収入金	0 円
合 計	21,263,523,825 円
II 負債額	
(一) 固定負債	1,438,830,439 円
1 長期借入金	0 円
2 学校債	385,700,000 円
3 引当金	1,029,214,987 円
4 長期未払金	23,915,452 円
(二) 流動負債	1,099,558,802 円
1 短期借入金(短期学校債含む)	118,000,000 円
2 短期未払金	366,849,741 円
3 前受金	472,487,750 円
4 その他	142,221,311 円
(三) 収益事業用負債	3,964,900 円
1 未払法人税等	3,964,900 円
合 計	2,542,354,141 円
正味財産(資産総額－負債総額)	18,721,169,684 円

## (2) 令和5年度資金収支計算書

### 比較資金収支計算書

(単位：円)

収入の部			
科 目	令和4年度	令和5年度	差 異
学生生徒等納付金収入	4,750,271,212	4,701,257,605	△ 49,013,607
手数料収入	72,823,515	75,066,639	2,243,124
寄付金収入	128,618,313	153,292,849	24,674,536
補助金収入	1,634,275,157	1,584,299,493	△ 49,975,664
資産売却収入	530,000,000	700,000,000	170,000,000
付随事業・収益事業収入	285,552,916	289,388,615	3,835,699
受取利息・配当金収入	28,824,319	42,647,564	13,823,245
雑収入	196,744,516	208,490,486	11,745,970
借入金等収入	86,600,000	88,900,000	2,300,000
前受金収入	443,051,300	472,487,750	29,436,450
その他の収入	835,426,594	985,661,127	150,234,533
資金収入調整勘定	△ 655,082,988	△ 564,967,888	90,115,100
前年度繰越支払資金	3,804,932,261	3,399,775,879	△ 405,156,382
収入の部合計	12,142,037,115	12,136,300,119	△ 5,736,996
支出の部			
科 目	令和4年度	令和5年度	差 異
人件費支出	4,376,282,031	4,369,558,773	△ 6,723,258
教育研究経費支出	1,467,494,804	1,389,314,906	△ 78,179,898
管理経費支出	624,878,337	639,380,212	14,501,875
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	86,480,000	101,600,000	15,120,000
施設関係支出	158,138,375	297,552,917	139,414,542
設備関係支出	215,940,436	189,929,814	△ 26,010,622
資産運用支出	1,769,139,212	2,546,176,371	777,037,159
その他の支出	464,199,334	450,384,996	△ 13,814,338
資金支出調整勘定	△ 420,291,293	△ 361,674,245	58,617,048
翌年度繰越支払資金	3,399,775,879	2,514,076,375	△ 885,699,504
支出の部合計	12,142,037,115	12,136,300,119	△ 5,736,996



### (3) 令和5年度活動区分資金収支計算書

#### 活動区分資金収支計算書

令和5年4月1日から

令和6年3月31日まで

(単位：円)

		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収 入	学生生徒等納付金収入	4,701,257,605
		手数料収入	75,066,639
		特別寄付金収入	67,558,105
		一般寄付金収入	82,493,744
		経常費等補助金収入	1,558,024,160
		付随事業収入	284,388,615
		雑収入	208,490,486
		教育活動資金収入計	6,977,279,354
	支 出	人件費支出	4,369,558,773
		教育研究経費支出	1,389,314,906
		管理経費支出	639,380,212
		教育活動資金支出計	6,398,253,891
		差引	579,025,463
	調整勘定等	△ 22,696,135	
	教育活動資金収支差額	556,329,328	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額
	収 入	施設設備寄付金収入	3,241,000
		施設設備補助金収入	26,275,333
		減価償却引当特定資産取崩収入	300,000,000
		施設整備等活動資金収入計	329,516,333
	支 出	施設関係支出	297,552,917
		設備関係支出	189,929,814
		減価償却引当特定資産繰入支出	1,630,000,000
		施設整備等活動資金支出計	2,117,482,731
		差引	△ 1,787,966,398
	調整勘定等	17,132,000	
	施設整備等活動資金収支差額	△ 1,770,834,398	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		△ 1,214,505,070	
その他の活動	科 目		金 額
	収 入	借入金等収入	88,900,000
		有価証券売却収入	700,000,000
		退職給与引当特定資産取崩収入	353,769,169
		学校債引当特定資産取崩収入	140,395,500
		百周年奨学金引当特定資産取崩収入	25,000,000
		小計	1,308,064,669

による資金収支	受取利息・配当金収入	42,647,564	
	収益事業収入	5,000,000	
	その他の活動資金収入計	1,355,712,233	
	支出	借入金等返済支出	101,600,000
		有価証券購入支出	700,000,000
		退職給与引当特定資産繰入支出	153,780,871
		学校債引当特定資産繰入支出	40,395,500
		百周年奨学金引当特定資産繰入支出	22,000,000
		預り金支払支出	1,927,212
		立替金支払支出	411,084
		仮受金支払支出	4,900,000
		預託金支出	1,188,000
		小計	1,026,202,667
		その他の活動資金支出計	1,026,202,667
	差引	329,509,566	
	調整勘定等	△ 704,000	
その他の活動資金収支差額	328,805,566		
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 885,699,504		
前年度繰越支払資金	3,399,775,879		
翌年度繰越支払資金	2,514,076,375		

## (4) 令和5年度事業活動収支計算書

## 比較事業活動収支計算書

(単位：円)

		科目	令和4年度	令和5年度	差異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	4,750,271,212	4,701,257,605	△ 49,013,607
		手数料	72,823,515	75,066,639	2,243,124
		寄付金	127,333,698	151,194,215	23,860,517
		経常費等補助金	1,609,101,157	1,558,024,160	△ 51,076,997
		付随事業収入	283,552,916	284,388,615	835,699
		雑収入	196,744,516	208,490,486	11,745,970
		教育活動収入計	7,039,827,014	6,978,421,720	△ 61,405,294
	事業活動支出の部	科目	令和4年度	令和5年度	差異
		人件費	4,345,503,957	4,426,960,927	81,456,970
		教育研究経費	1,988,506,814	1,939,722,070	△ 48,784,744
		管理経費	671,783,986	685,874,046	14,090,060
		徴収不能額等	0	60,000	60,000
		教育活動支出計	7,005,794,757	7,052,617,043	46,822,286
教育活動収支差額		34,032,257	△ 74,195,323	△ 108,227,580	
教育活動外収支	収事業の活動の部	科目	令和4年度	令和5年度	差異
		受取利息・配当金	28,824,319	42,647,564	13,823,245
		その他の教育活動外収入	2,000,000	5,000,000	3,000,000
	教育活動外収入計		30,824,319	47,647,564	16,823,245
	支事業の活動の部	科目	令和4年度	令和5年度	差異
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計		0	0	0	
教育活動外収支差額		30,824,319	47,647,564	16,823,245	
経常収支差額		64,856,576	△ 26,547,759	△ 91,404,335	
特別収支	収事業の活動の部	科目	令和4年度	令和5年度	差異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	33,246,799	32,495,494	△ 751,305
	特別収入計		33,246,799	32,495,494	△ 751,305
	支事業の活動の部	科目	令和4年度	令和5年度	差異
		資産処分差額	4,612,960	67,496	△ 4,545,464
		その他の特別支出	0	0	0
特別支出計		4,612,960	67,496	△ 4,545,464	
特別収支差額		28,633,839	32,427,998	3,794,159	
基本金組入前当年度収支差額		93,490,415	5,880,239	△ 87,610,176	
基本金組入額合計		△ 299,690,414	△ 305,218,417	△ 5,528,003	
当年度収支差額		△ 206,199,999	△ 299,338,178	△ 93,138,179	
前年度繰越収支差額		△ 6,639,765,709	△ 6,828,601,703	△ 188,835,994	
基本金取崩額		17,364,005	13,450,743	△ 3,913,262	
翌年度繰越収支差額		△ 6,828,601,703	△ 7,114,489,138	△ 285,887,435	
(参考)					
事業活動収入計		7,103,898,132	7,058,564,778	△ 45,333,354	
事業活動支出計		7,010,407,717	7,052,684,539	42,276,822	

## (5) 令和5年度貸借対照表

## 貸借対照表

令和6年3月31日

(単位：円)

資産の部			
科 目	令和5年度末	令和4年度末	増 減
固定資産	18,573,521,224	17,651,668,072	921,853,152
有形固定資産	13,353,786,494	13,469,867,081	△ 116,080,587
土地	2,494,546,470	2,494,546,470	0
建物	8,758,481,009	8,851,245,892	△ 92,764,883
構築物	292,693,799	308,608,243	△ 15,914,444
教育研究用機器備品	687,641,162	695,328,165	△ 7,687,003
図書	1,059,788,809	1,048,974,068	10,814,741
その他の有形固定資産	60,635,245	71,164,243	△ 10,528,998
特定資産	5,156,381,702	4,129,370,000	1,027,011,702
その他の固定資産	63,353,028	52,430,991	10,922,037
流動資産	2,642,957,043	3,572,311,297	△ 929,354,254
現金預金	2,514,076,375	3,399,775,879	△ 885,699,504
有価証券	0	0	0
その他の流動資産	128,880,668	172,535,418	△ 43,654,750
資産の部合計	21,216,478,267	21,223,979,369	△ 7,501,102

負債の部			
科 目	令和5年度末	令和4年度末	増 減
固定負債	1,438,830,439	1,406,670,375	32,160,064
学校債	385,700,000	403,800,000	△ 18,100,000
退職給与引当金	1,029,214,987	971,812,833	57,402,154
長期未払金	23,915,452	31,057,542	△ 7,142,090
流動負債	1,099,558,802	1,145,100,207	△ 45,541,405
1年以内償還予定学校債	118,000,000	112,600,000	5,400,000
前受金	472,487,750	443,051,300	29,436,450
その他の流動負債	509,071,052	589,448,907	△ 80,377,855
負債の部合計	2,538,389,241	2,551,770,582	△ 13,381,341

純資産の部			
科 目	令和5年度末	令和4年度末	増 減
基本金	25,792,578,164	25,500,810,490	291,767,674
第1号基本金	25,117,208,164	24,825,440,490	291,767,674
第3号基本金	124,370,000	124,370,000	0
第4号基本金	551,000,000	551,000,000	0
繰越収支差額	△ 7,114,489,138	△ 6,828,601,703	△ 285,887,435
翌年度繰越収支差額	△ 7,114,489,138	△ 6,828,601,703	△ 285,887,435
純資産の部合計	18,678,089,026	18,672,208,787	5,880,239

科 目	令和5年度末	令和4年度末	増 減
負債及び純資産の部 合計	21,216,478,267	21,223,979,369	△ 7,501,102

## (6)収益事業 貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	47,045,558	流動負債	3,964,900
預    金	47,045,558	未払法人税等	3,290,500
未収入金	0	未払消費税等	674,400
		(純資産の部)	
		利益剰余金	43,080,658
		その他利益剰余金	43,080,658
		別途積立金	3,500,000
		繰越利益剰余金	39,580,658
資産合計	47,045,558	負債・純資産合計	47,045,558

## (7) 収益事業 損益計算書

損 益 計 算 書

自 令和5年4月1日  
至 令和6年3月31日

(単位:円)

科 目	金	額
【売上高】		
受取割戻金	6,763,307	6,763,307
【販売費及び一般管理費】		
租税公課	596,000	
寄付金	5,000,000	5,596,000
営業利益		1,167,307
【営業外収益】		
受取利息	486	
雑収入	163,568	164,054
経常利益		1,331,361
税引前当期純利益		1,331,361
法人税、住民税及び事業税		623,800
当期純利益		707,561

## 2. 経年比較

### (1) 資金収支の推移(令和元年度～令和5年度)

(単位:千円)

科 目		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
収 入 の 部	学生生徒等納付金収入	4,541,962	4,628,317	4,715,824	4,750,271	4,701,258
	手 数 料 収 入	93,878	82,645	78,053	72,824	75,067
	寄 付 金 収 入	104,255	102,690	133,018	128,618	153,293
	補 助 金 収 入	1,428,939	1,518,731	1,664,569	1,634,275	1,584,299
	資 産 売 却 収 入	1,504,814	2,111,256	990,000	530,000	700,000
	付随事業・収益事業収入	302,025	193,239	241,296	285,553	289,389
	受取利息・配当金収入	20,245	23,402	23,110	28,824	42,648
	雑 収 入	215,156	169,469	205,036	196,745	208,490
	借 入 金 等 収 入	91,100	94,400	107,800	86,600	88,900
	前 受 金 収 入	462,816	478,509	485,132	443,051	472,488
	そ の 他 の 収 入	1,384,975	1,330,144	1,374,389	835,427	985,661
	資金収入調整勘定	△ 690,960	△ 643,621	△ 662,120	△ 655,083	△ 564,968
	前年度繰越支払資金	3,754,127	3,723,252	4,485,672	3,804,932	3,399,776
	収 入 の 部 合 計	13,213,332	13,812,432	13,841,777	12,142,037	12,136,300
支 出 の 部	人 件 費 支 出	4,365,694	4,344,236	4,370,143	4,376,282	4,369,559
	教育研究経費支出	1,260,807	1,859,146	1,467,725	1,467,495	1,389,315
	管 理 経 費 支 出	568,838	643,430	597,294	624,878	639,380
	借入金等利息支出	0	0	0	0	0
	借入金等返済支出	136,900	93,900	127,940	86,480	101,600
	施設関係支出	162,877	1,462,652	158,774	158,138	297,553
	設備関係支出	213,693	313,987	124,586	215,940	189,930
	資産運用支出	2,635,642	1,345,452	2,321,989	1,769,139	2,546,176
	そ の 他 の 支 出	662,324	527,052	1,264,504	464,199	450,385
	資金支出調整勘定	△ 516,697	△ 1,263,094	△ 396,111	△ 420,291	△ 361,674
	次年度繰越支払資金	3,723,252	4,485,672	3,804,932	3,399,776	2,514,076
	支 出 の 部 合 計	13,213,332	13,812,432	13,841,777	12,142,037	12,136,300

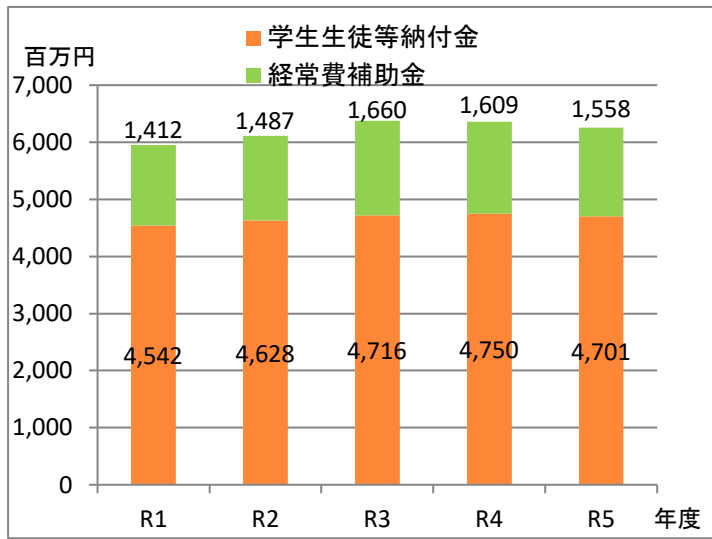
(2) 事業活動収支の推移(令和元年度～令和5年度)

(単位：千円)

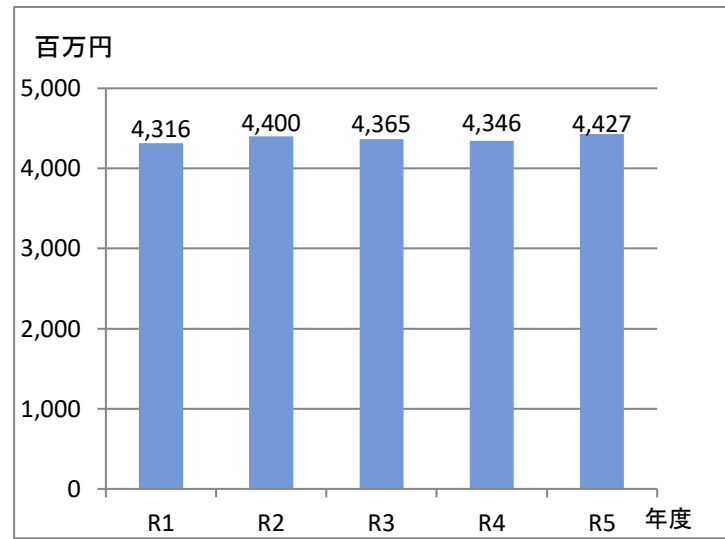
教育活動収支	収入の部	科 目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
		学生生徒等納付金	4,541,962	4,628,317	4,715,824	4,750,271	4,701,258	①
		手数料	93,878	82,645	78,053	72,824	75,067	
		寄付金	101,907	102,018	131,657	127,334	151,194	②
		経常費等補助金	1,412,297	1,487,408	1,659,591	1,609,101	1,558,024	③
		付随事業収入	300,025	191,239	239,296	283,553	284,389	
		雑収入	217,835	337,191	232,229	196,745	208,490	
		教育活動収入計	6,667,903	6,828,819	7,056,650	7,039,827	6,978,422	④
	支出の部	科 目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
		人件費	4,315,919	4,399,979	4,365,148	4,345,504	4,426,961	⑤
		教育研究経費	1,816,893	2,430,005	1,972,894	1,988,507	1,939,722	⑥
		管理経費	606,805	689,231	604,048	671,784	685,874	⑦
		徴収不能額等	854	0	105	0	60	
		教育活動支出計	6,740,471	7,519,214	6,942,195	7,005,795	7,052,617	⑧
教育活動収支差額	△ 72,567	△ 690,395	114,455	34,032	△ 74,195	⑨		
教育活動外収支	収入の部	科 目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
		受取利息・配当金	20,245	23,402	23,110	28,824	42,648	
		その他の教育活動外収入	2,000	2,000	2,000	2,000	5,000	
	教育活動外収入計	22,245	25,402	25,110	30,824	47,648	⑩	
	支出の部	科 目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
		借入金等利息	0	0	0	0	0	⑪
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0	⑫
	教育活動外収支差額	22,245	25,402	25,110	30,824	47,648		
	経常収支差額	△ 50,323	△ 664,994	139,565	64,857	△ 26,548	⑬	
特別収支	収入の部	科 目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
		資産売却差額	0	113	0	0	0	
		その他の特別収入	23,394	37,440	16,229	33,247	32,495	
		うち、施設設備寄付金	3,121	1,612	2,401	2,450	3,241	⑭
		うち、施設設備補助金	16,642	31,323	4,978	25,174	26,275	⑮
	特別収入計	23,394	37,553	16,229	33,247	32,495		
	支出の部	科 目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
		資産処分差額	30,242	2,029,236	77,653	4,613	67	
		その他の特別支出	0	0	36,943	0	0	
		特別支出計	30,242	2,029,236	114,596	4,613	67	
特別収支差額	△ 6,848	△ 1,991,683	△ 98,367	28,634	32,428			
基本金組入前当年度収支差額	△ 57,171	△ 2,656,677	41,198	93,490	5,880	⑯		
基本金組入額合計	△ 266,687	△ 194,946	△ 734,290	△ 299,690	△ 305,218	⑰		
当年度収支差額	△ 323,857	△ 2,851,622	△ 693,092	△ 206,200	△ 299,338			
前年度繰越収支差額	△ 9,744,137	△ 10,008,094	△ 6,096,270	△ 6,639,766	△ 6,828,602			
基本金取崩額	59,901	6,763,446	149,597	17,364	13,451			
翌年度繰越収支差額	△ 10,008,094	△ 6,096,270	△ 6,639,766	△ 6,828,602	△ 7,114,489			
(参考)								
事業活動収入計	6,713,542	6,891,774	7,097,989	7,103,898	6,850,074	⑰		
事業活動支出計(予備費含む)	6,770,713	9,548,450	7,056,791	7,010,408	7,052,625	⑱		
減価償却額	593,280	615,719	547,898	568,190	596,254	⑳		



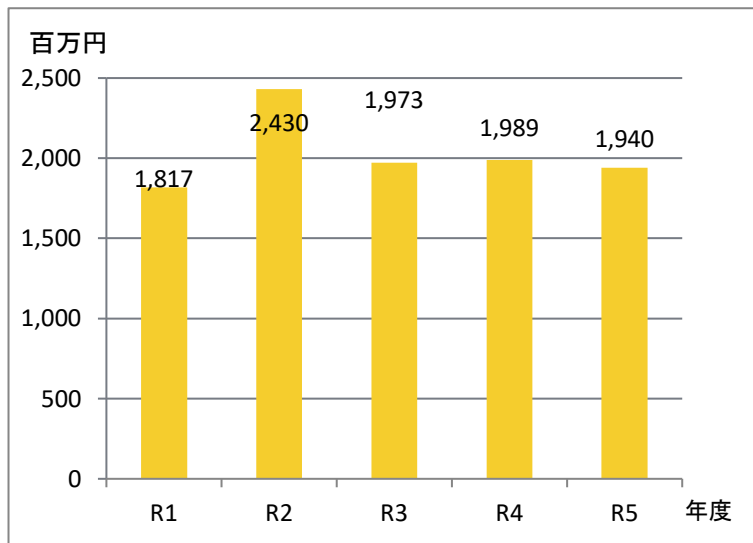
図表1 学生生徒等納付金+補助金の推移



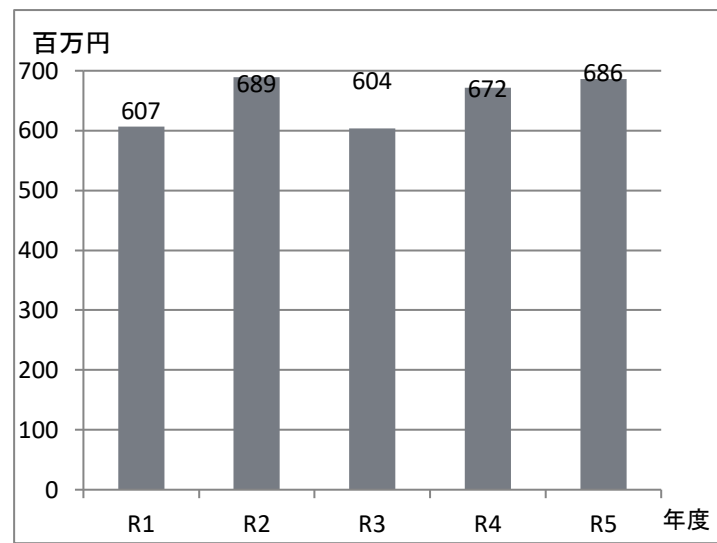
図表2 人件費の推移



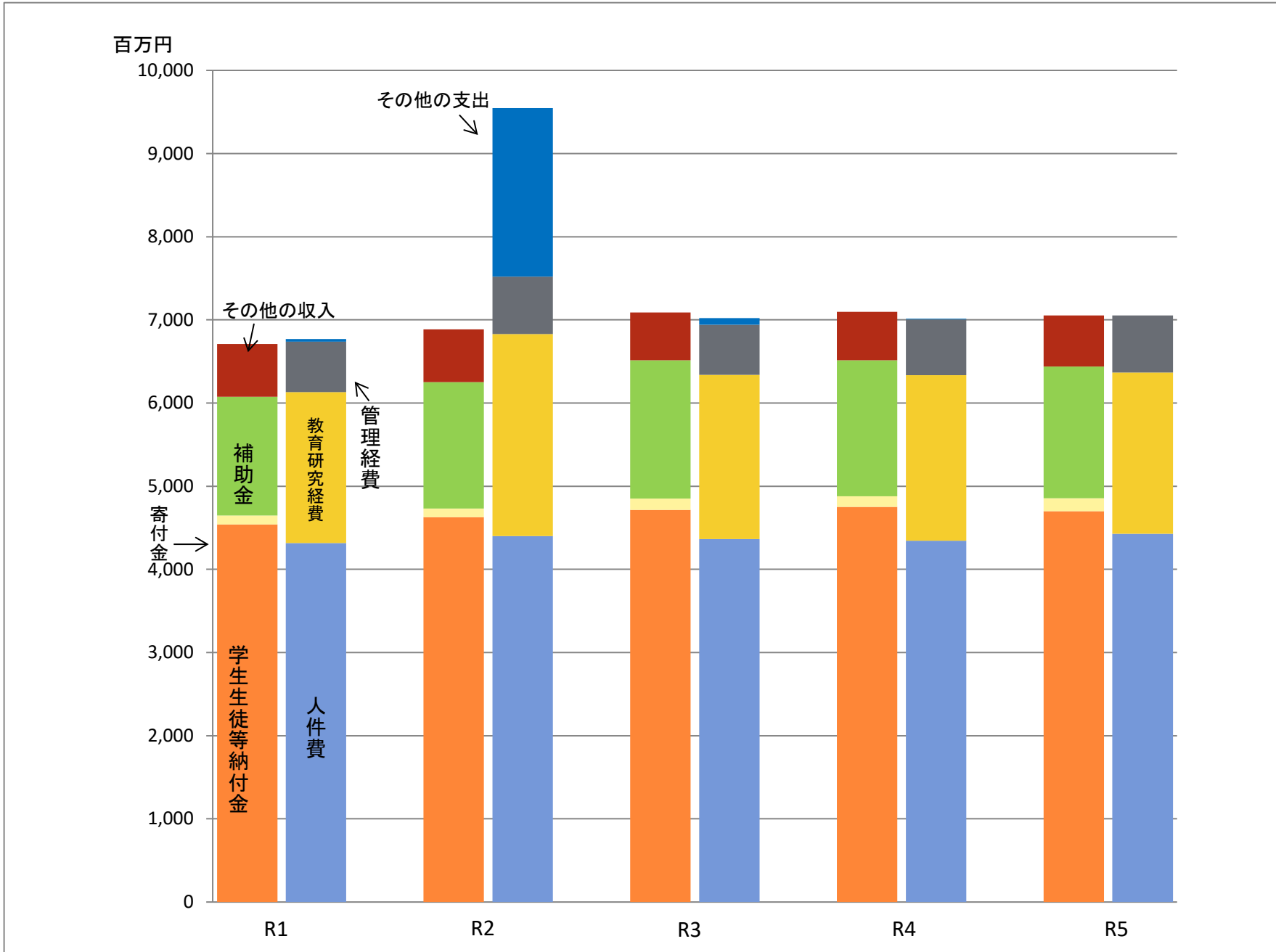
図表3 教育研究経費の推移



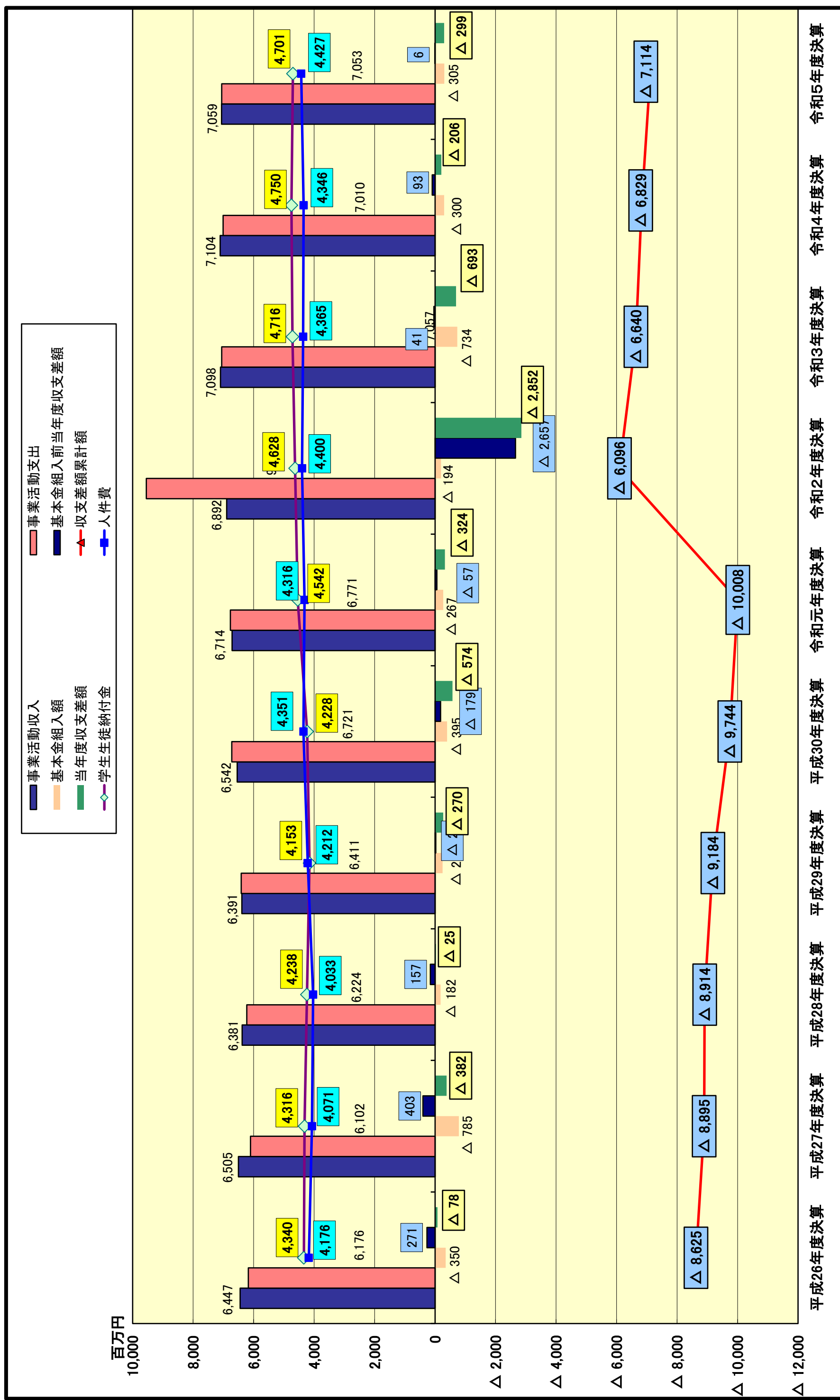
図表4 管理経費の推移



図表5 事業活動収支の推移



図表6 平成26年度～令和5年度別事業活動(旧消費)収支計算推移表



## (3) 貸借対照表の推移(令和元年度～令和5年度)

(単位:千円)

資 産 の 部					
科 目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
<b>固 定 資 産</b>	<b>20,171,315</b>	<b>17,409,361</b>	<b>17,248,314</b>	<b>17,651,668</b>	<b>18,573,521</b>
有 形 固 定 資 産	16,412,081	13,975,944	13,652,203	13,469,867	13,353,786
うち、土地	3,017,379	2,494,546	2,494,546	2,494,546	2,494,546
うち、建物	9,784,962	9,349,350	9,084,941	8,851,246	8,758,481
うち、構築物	262,230	280,140	314,772	308,608	292,694
うち、教育研究用機器備品	567,694	710,472	634,620	695,328	687,641
うち、図書	2,678,773	1,040,869	1,042,440	1,048,974	1,059,789
その他の有形固定資産	101,044	100,567	80,884	71,164	60,635
特 定 資 産	3,698,370	3,361,370	3,536,370	4,129,370	5,156,382
そ の 他 の 固 定 資 産	60,864	72,048	59,741	52,431	63,353
<b>流 動 資 産</b>	<b>3,924,905</b>	<b>4,672,196</b>	<b>3,993,687</b>	<b>3,572,311</b>	<b>2,642,957</b>
う ち、 現 金・ 預 金	3,723,252	4,485,672	3,804,932	3,399,776	2,514,076
う ち、 有 価 証 券	0	0	0	0	0
そ の 他	201,653	186,524	188,755	172,535	128,881
<b>資 産 の 部 合 計</b>	<b>24,096,220</b>	<b>22,081,557</b>	<b>21,242,001</b>	<b>21,223,979</b>	<b>21,216,478</b>

負 債 の 部					
科 目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
<b>固 定 負 債</b>	<b>1,631,660</b>	<b>1,528,678</b>	<b>1,447,048</b>	<b>1,406,670</b>	<b>1,438,830</b>
う ち、 長 期 借 入 金	0	0	0	0	0
う ち、 学 校 債	416,420	423,620	390,980	403,800	385,700
う ち、 退 職 給 与 引 当 金	1,151,358	1,039,379	1,002,591	971,813	1,029,215
そ の 他	63,882	65,679	53,478	31,058	23,915
<b>流 動 負 債</b>	<b>1,270,363</b>	<b>2,015,358</b>	<b>1,216,234</b>	<b>1,145,100</b>	<b>1,099,559</b>
う ち、 短 期 借 入 金	0	0	0	0	0
う ち、 前 受 金	462,816	478,509	485,132	443,051	472,488
そ の 他	807,548	1,536,849	731,103	702,049	627,071
<b>負 債 の 部 合 計</b>	<b>2,902,023</b>	<b>3,544,036</b>	<b>2,663,283</b>	<b>2,551,771</b>	<b>2,538,389</b>

純 資 産 の 部					
科 目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
<b>基本金</b>	<b>31,202,291</b>	<b>24,633,791</b>	<b>25,218,484</b>	<b>25,500,810</b>	<b>25,792,578</b>
ア 第 1 号 基 本 金	30,641,921	24,073,421	24,543,114	24,825,440	25,117,208
イ 第 2 号 基 本 金	0	0	0	0	0
ウ 第 3 号 基 本 金	124,370	124,370	124,370	124,370	124,370
エ 第 4 号 基 本 金	436,000	436,000	551,000	551,000	551,000
<b>繰越収支差額</b>	<b>△ 10,008,094</b>	<b>△ 6,096,270</b>	<b>△ 6,639,766</b>	<b>△ 6,828,602</b>	<b>△ 7,114,489</b>
翌年度繰越収支差額	△ 10,008,094	△ 6,096,270	△ 6,639,766	△ 6,828,602	△ 7,114,489
<b>純 資 産 の 部 合 計</b>	<b>21,194,197</b>	<b>18,537,521</b>	<b>18,578,718</b>	<b>18,672,209</b>	<b>18,678,089</b>

科 目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>24,096,220</b>	<b>22,081,557</b>	<b>21,242,001</b>	<b>21,223,979</b>	<b>21,216,478</b>

(参考)

科 目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
減価償却の累計額の合計額	14,258,473	10,519,688	10,908,407	11,375,147	11,777,022
減価償却資産取得価額	25,023,350	21,024,307	21,073,587	21,342,128	21,627,825
基本金未組入額	89,481	498,202	75,399	68,149	72,893
退職給与引当特定資産	1,300,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,000,012
退職給与引当金	1,151,358	1,039,379	1,002,591	971,813	1,029,215

## (4)財務比率表の推移(令和元年度～令和5年度)

区 分		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
比率	算式(×100)						
事業活動収支計算書関係比率	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}} = \frac{\text{⑤}}{\text{④} + \text{⑩}}$	64.5%	64.2%	61.6%	61.5%	63.0%
	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}} = \frac{\text{⑤}}{\text{①}}$	95.0%	95.1%	92.6%	91.5%	94.2%
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}} = \frac{\text{⑥}}{\text{④} + \text{⑩}}$	27.2%	35.5%	27.9%	28.1%	27.6%
	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}} = \frac{\text{⑦}}{\text{④} + \text{⑩}}$	9.1%	10.1%	8.5%	9.5%	9.8%
	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}} = \frac{\text{⑪}}{\text{④} + \text{⑩}}$	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}} = \frac{\text{⑬}}{\text{⑱}}$	-0.9%	-38.5%	0.6%	1.3%	0.1%
	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}} = \frac{\text{⑲}}{\text{⑱} - \text{⑰}}$	105.0%	142.6%	110.9%	103.0%	107.8%
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}} = \frac{\text{①}}{\text{④} + \text{⑩}}$	67.9%	67.5%	66.6%	67.2%	66.9%
	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}} = \frac{\text{②} + \text{⑭}}{\text{⑱}}$	1.6%	1.5%	1.9%	1.8%	2.3%
	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}} = \frac{\text{②}}{\text{④} + \text{⑩}}$	1.5%	1.5%	1.9%	1.8%	2.2%
	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}} = \frac{\text{③} + \text{⑮}}{\text{⑱}}$	21.3%	22.0%	23.5%	23.0%	23.1%
	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}} = \frac{\text{③}}{\text{④} + \text{⑩}}$	21.1%	21.7%	23.4%	22.8%	22.2%
	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}} = \frac{\text{⑰}}{\text{⑱}}$	4.0%	2.8%	10.3%	4.2%	4.5%
	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}} = \frac{\text{⑳}}{\text{⑧} + \text{⑫}}$	8.8%	8.2%	7.9%	8.1%	8.5%
	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}} = \frac{\text{⑬}}{\text{④} + \text{⑩}}$	-0.8%	-9.7%	2.0%	0.9%	-0.4%
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}} = \frac{\text{⑨}}{\text{④}}$	-1.1%	-10.1%	1.6%	0.5%	-1.1%	

(注記)

小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位までを記入。

区 分		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
比率	算式(×100)					
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} = \frac{A}{G}$	83.7%	78.8%	81.2%	83.2%	87.5%
有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}} = \frac{B}{G}$	68.1%	63.3%	64.3%	63.5%	62.9%
特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}} = \frac{C}{G}$	15.3%	15.2%	16.6%	19.5%	24.3%
流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}} = \frac{D}{G}$	16.3%	21.2%	18.8%	16.8%	12.5%
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債 + 純資産}} = \frac{H}{R}$	6.8%	6.9%	6.8%	6.6%	6.8%
流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{負債 + 純資産}} = \frac{J}{R}$	5.3%	9.1%	5.7%	5.4%	5.2%
内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産 - 総負債}}{\text{総資産}} = \frac{(E+C+F)-L}{G}$	18.8%	19.5%	22.0%	23.5%	24.2%
運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産 - 外部負債}}{\text{経常支出}} = \frac{(E+C+F)-(L-K-I)}{\text{⑧ + ⑫}}$	91.0%	77.4%	88.8%	91.2%	94.1%
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債 + 純資産}} = \frac{Q}{R}$	88.0%	84.0%	87.5%	88.0%	88.0%
繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{負債 + 純資産}} = \frac{P}{R}$	-41.5%	-27.6%	-31.3%	-32.2%	-33.5%
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}} = \frac{A}{Q}$	95.2%	93.9%	92.8%	94.5%	99.4%
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産 + 固定負債}} = \frac{A}{Q+H}$	88.4%	86.8%	86.1%	87.9%	92.3%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} = \frac{D}{J}$	309.0%	231.8%	328.4%	312.0%	240.4%
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}} = \frac{L}{G}$	12.0%	16.0%	12.5%	12.0%	12.0%
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}} = \frac{L}{Q}$	13.7%	19.1%	14.3%	13.7%	13.6%
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}} = \frac{E}{K}$	804.5%	937.4%	784.3%	767.4%	532.1%
退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}} = \frac{V}{W}$	112.9%	115.5%	119.7%	123.5%	97.2%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}} = \frac{M}{M+U}$	99.7%	98.0%	99.7%	99.7%	99.7%
減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価額(図書を除く)}} = \frac{S}{T}$	57.0%	50.0%	51.8%	53.3%	54.5%
積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}} = \frac{E+C+F}{S+I+N+O}$	47.8%	67.2%	61.0%	60.4%	59.3%